

令和4年度 第1回

杉並区区政モニターアンケート
「杉並区立図書館サービス基本方針」について

集計結果報告書



令和4年6月実施

杉並区総務部区政相談課

「杉並区立図書館サービス基本方針」について

調査の概要

1 調査の目的

杉並区の図書館では、平成25年3月に「杉並区立図書館サービス基本方針」を定め、図書館の10年後のあるべき姿を、「学びの場」、「知の共同体」、「楽しい交流空間」という3つの視点から描き、その実現を目指してサービスの充実に努めてきました。このたび、令和4年度にその終期を迎えることから、新たな基本方針を作成することとしました。

これからの杉並区の図書館のあるべき姿や充実すべきサービスについてアンケート調査を実施し、基本方針改定の参考とさせていただきます。

2 調査期間

令和4年6月27日～7月11日

3 対象者(区政モニター)

200人

4 回答者数

166人(=n) 回答率 83.0%

5 回答者構成

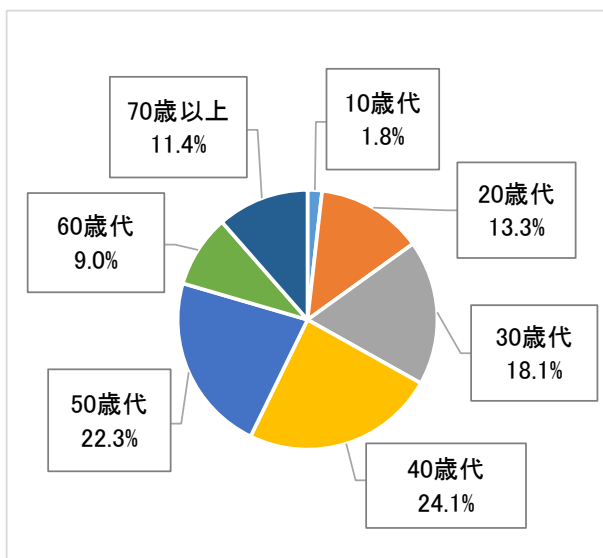
単位:人

〈年代別構成〉	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
男性	0	6	17	15	19	12	13	82
女性	3	16	13	25	18	3	6	84
人数	3	22	30	40	37	15	19	166
割合	1.8%	13.3%	18.1%	24.1%	22.3%	9.0%	11.4%	100%

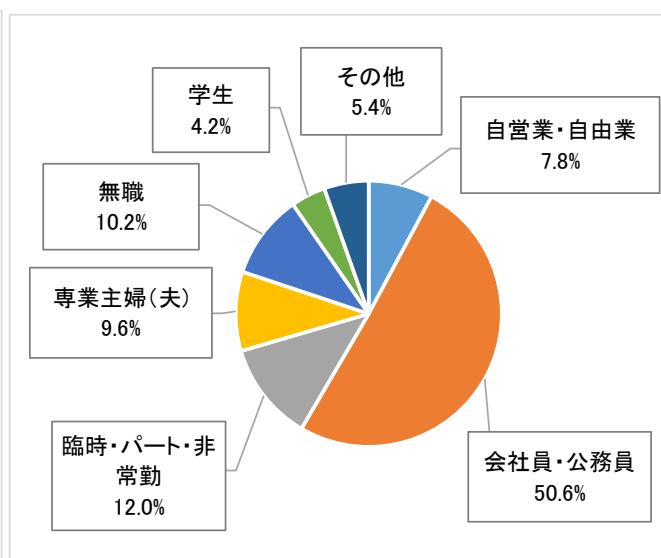
単位:人

〈職業別構成〉	自営業・自由業	会社員・公務員	臨時・パート・非常勤	専業主婦(夫)	無職	学生	その他	合計
人数	13	84	20	16	17	7	9	166
割合	7.8%	50.6%	12.0%	9.6%	10.2%	4.2%	5.4%	100%

〈年代別構成〉



〈職業別構成〉



6 集計結果の表示について

- (1) 各項の初めにあるnは、回答者数を表しています。
- (2) 百分率は、小数第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

◆基本事項についてお聞きします。

問1 あなたの性別をお答えください。

問2 あなたの年齢をお答えください。

問3 あなたのご職業は、主に次のどれにあたりますか。

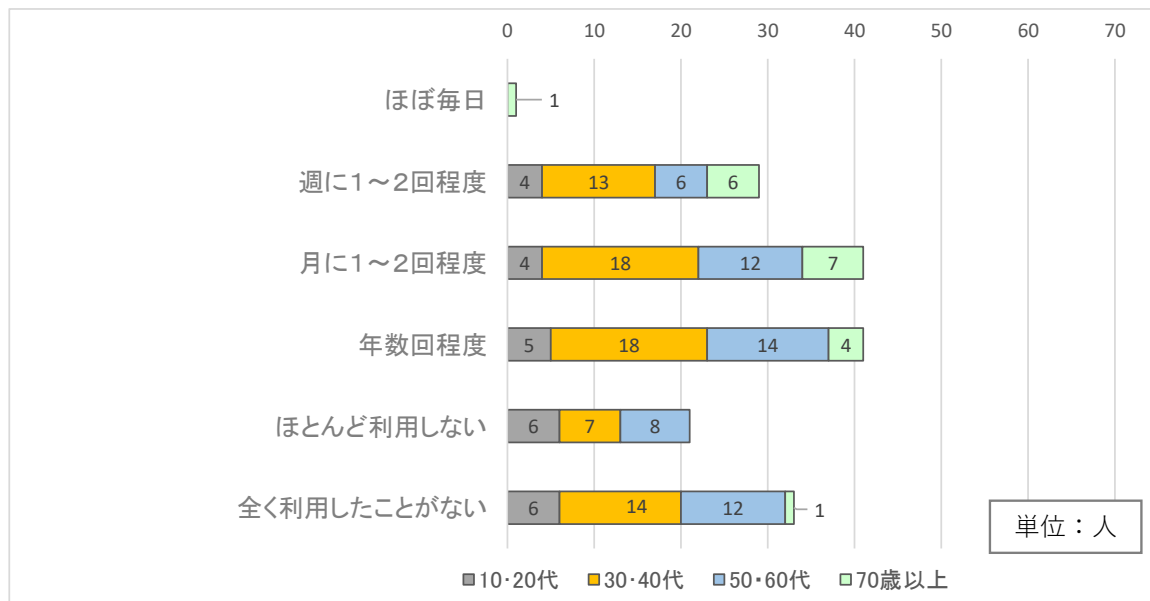
※問1～問3の結果については、左記『調査の概要「5 回答者構成」』のとおり

◇「図書館の利用状況」についてお尋ねします。

問4 あなたはこの1年間で、区立図書館をどのくらいの頻度で利用していますか。
(○は1つ) 必須

n= 166

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合				
ほぼ毎日	1	0.6%	0	0	0	1
週に1～2回程度	29	17.5%	4	13	6	6
月に1～2回程度	41	24.7%	4	18	12	7
年数回程度	41	24.7%	5	18	14	4
ほとんど利用しない	21	12.7%	6	7	8	0
全く利用したことがない	33	19.9%	6	14	12	1
合計	166	100.0%	25	70	52	19

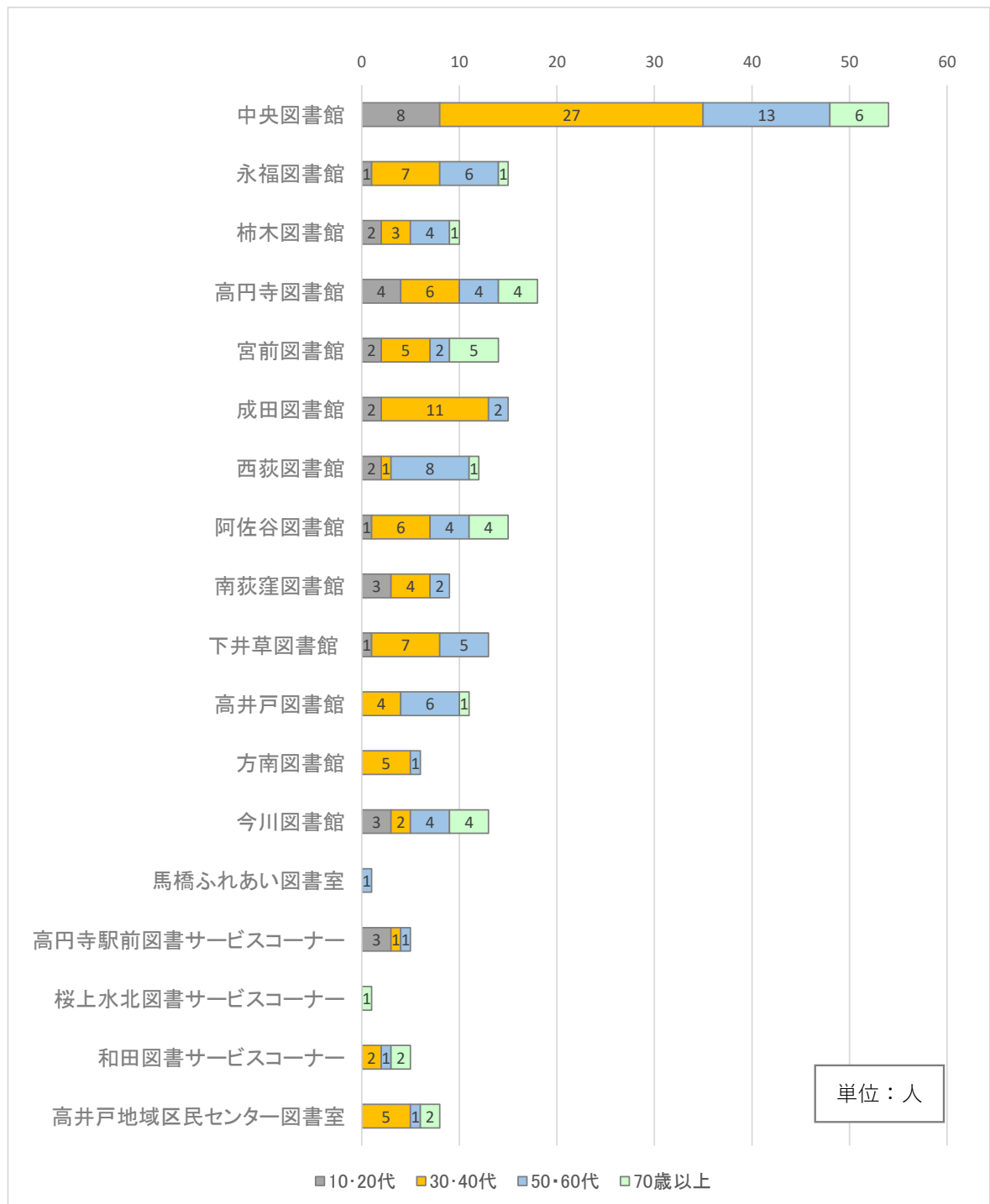


問5 問4で「ほぼ毎日」「週に1～2回程度」「月に1～2回程度」「年数回程度」「ほとんど利用しない」と回答した図書館等を利用されている方に伺います。あなたが利用しているのはどの図書館(図書サービスコーナー等)ですか。(○はいくつでも)

n= 133

図書館	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合				
中央図書館	54	40.6%	8	27	13	6
永福図書館	15	11.3%	1	7	6	1
柿木図書館	10	7.5%	2	3	4	1
高円寺図書館	18	13.5%	4	6	4	4
宮前図書館	14	10.5%	2	5	2	5
成田図書館	15	11.3%	2	11	2	0
西荻図書館	12	9.0%	2	1	8	1
阿佐谷図書館	15	11.3%	1	6	4	4

南荻窪図書館	9	6.8%	3	4	2	0
下井草図書館	13	9.8%	1	7	5	0
高井戸図書館	11	8.3%	0	4	6	1
方南図書館	6	4.5%	0	5	1	0
今川図書館	13	9.8%	3	2	4	4
馬橋ふれあい図書室	1	0.8%	0	0	1	0
高円寺駅前図書サービスコーナー	5	3.8%	3	1	1	0
桜上水北図書サービスコーナー	1	0.8%	0	0	0	1
和田図書サービスコーナー	5	3.8%	0	2	1	2
高井戸地域区民センター図書室	8	6.0%	0	5	1	2



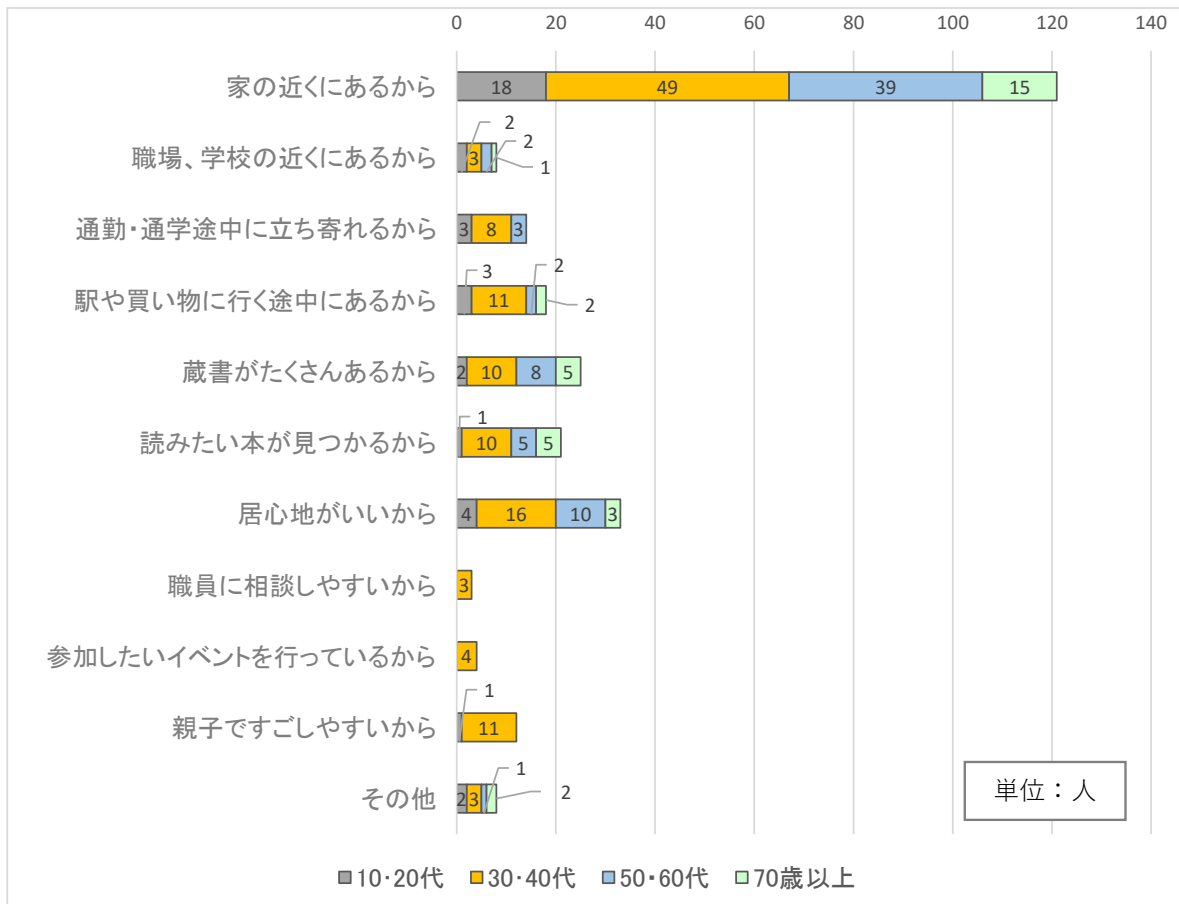
問6 問5で回答した図書館を利用している理由は何ですか。(〇はいくつでも)

n= 133

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合				
家の近くにあるから	121	91.0%	18	49	39	15
職場、学校の近くにあるから	8	6.0%	2	3	2	1
通勤・通学途中に立ち寄れるから	14	10.5%	3	8	3	0
駅や買い物に行く途中にあるから	18	13.5%	3	11	2	2
蔵書がたくさんあるから	25	18.8%	2	10	8	5
読みたい本が見つかるから	21	15.8%	1	10	5	5
居心地がいいから	33	24.8%	4	16	10	3
職員に相談しやすいから	3	2.3%	0	3	0	0
参加したいイベントを行っているから	4	3.0%	0	4	0	0
親子で過ごしやすいから	12	9.0%	1	11	0	0
その他	8	6.0%	2	3	1	2

その他・・・

- ・近くに図書館がないので仕方なく。
- ・スタッフさんが優しい。
- ・南荻窪で書籍を借りて(宮前に扱いが無い月刊誌)、宮前に返却。
- ・最寄りの図書館よりも対応の感じが良いから。
- ・子育てプラザの近くにあるから・プールのついでに寄る。
- ・パソコンやインターネットを利用できる。
- ・自習スペースがあるから。



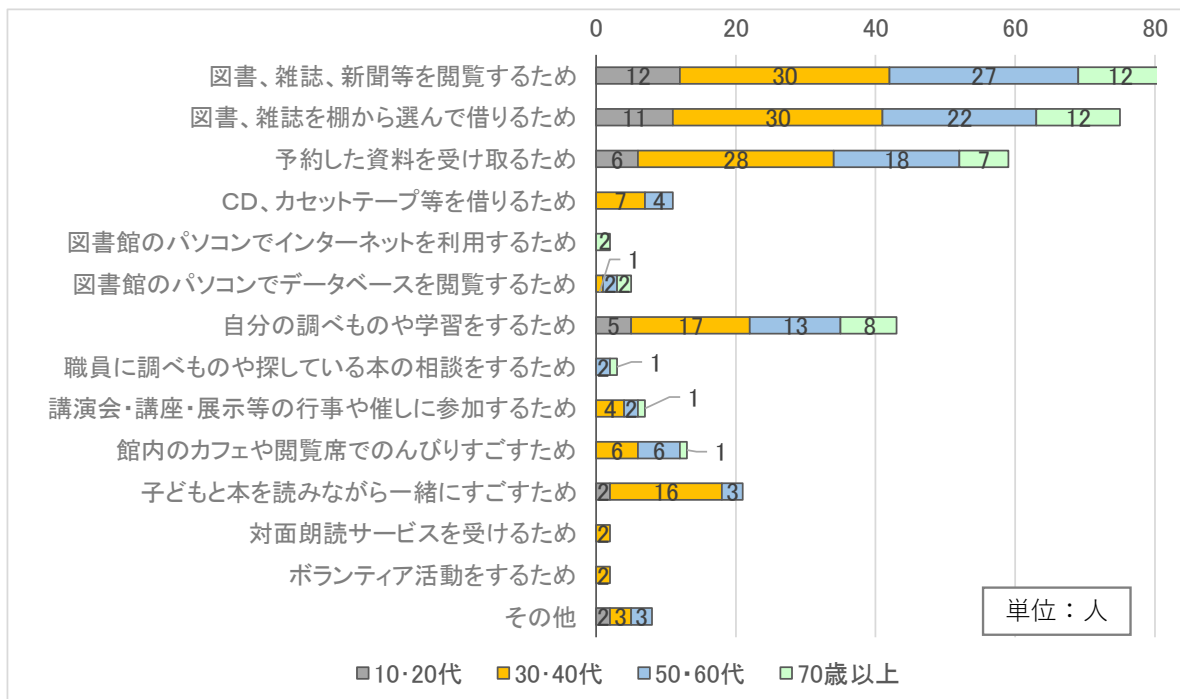
問7 あなたは区立図書館をどのような目的で利用しますか。(〇はいくつでも)

n= 133

	全体	10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
図書、雑誌、新聞等を閲覧するため	81 60.9%	12	30	27	12
図書、雑誌を棚から選んで借りるため	75 56.4%	11	30	22	12
予約した資料を受け取るため	59 44.4%	6	28	18	7
CD、カセットテープ等を借りるため	11 8.3%	0	7	4	0
図書館のパソコンでインターネットを利用するため	2 1.5%	0	0	0	2
図書館のパソコンでデータベースを閲覧するため	5 3.8%	0	1	2	2
自分の調べものや学習をするため	43 32.3%	5	17	13	8
職員に調べものや探している本の相談をするため	3 2.3%	0	0	2	1
講演会・講座・展示等の行事や催しに参加するため	7 5.3%	0	4	2	1
館内のカフェや閲覧席でのんびりすごすため	13 9.8%	0	6	6	1
子どもと本を読みながら一緒にすごすため	21 15.8%	2	16	3	0
対面朗読サービスを受けるため	2 1.5%	0	2	0	0
ボランティア活動をするため	2 1.5%	0	2	0	0
その他	8 6.0%	2	3	3	0

その他・・・

- ・現在、介護もしておりますが、辛く感じた時に、静かな図書館にいて、心が癒される時があります。
- ・子供の学習の補助教材として(小学生には漢字の成り立ちの本や足し算引き算の本、幼稚園生にはひらがなの本等)
- ・子供の本を借りる際の付き添い。
- ・妻がネットで予約した本が届いた連絡がある又は本を返却するタイミングに合わせて中央図書館に隣接している読書の森公園に子供を連れて行くのが目的。そのついでに、図書館の施設を利用する。
- ・本を読むこともあるが(子どものスペースで大きな絵本など)子供が施設の階段やエレベーターが好きなのでそれらを楽しむ。
- ・妻も一緒のときはカフェも利用する。雰囲気が良い。
- ・資格試験等の勉強。
- ・自前のパソコン、タブレット等の併用。
- ・子供が小さい頃は、よく一緒に本を借りて家で読んでいました。



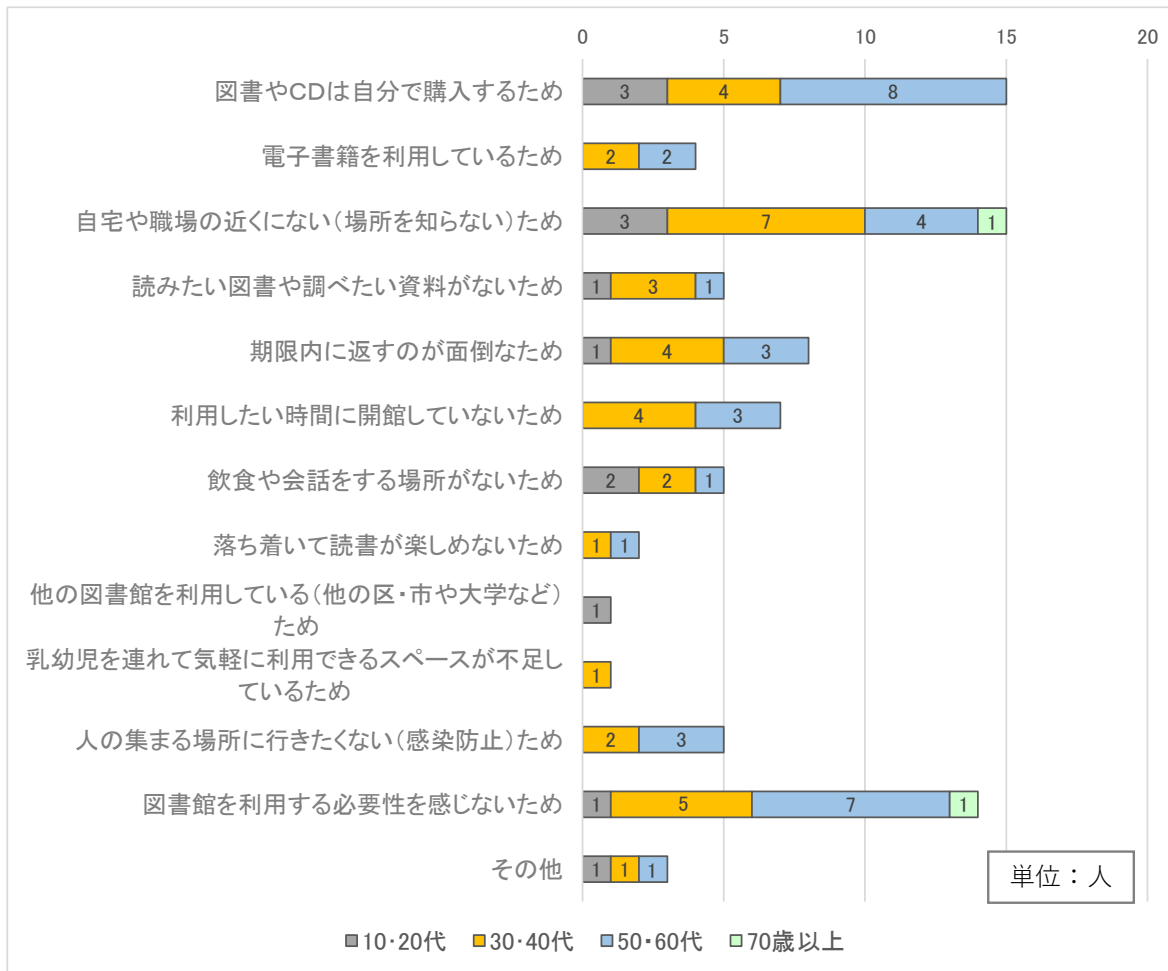
問8 あなたが区立図書館を利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

n= 33

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
図書やCDは自分で購入するため	15	45.5%	3	4	8	0
電子書籍を利用しているため	4	12.1%	0	2	2	0
自宅や職場の近くにない(場所を知らない)ため	15	45.5%	3	7	4	1
読みたい図書や調べたい資料がないため	5	15.2%	1	3	1	0
期限内に返すのが面倒なため	8	24.2%	1	4	3	0
利用したい時間に開館していないため	7	21.2%	0	4	3	0
飲食や会話をする場所がないため	5	15.2%	2	2	1	0
落ち着いて読書が楽しめないため	2	6.1%	0	1	1	0
他の図書館を利用している(他の区・市や大学など)ため	1	3.0%	1	0	0	0
乳幼児を連れて気軽に利用できるスペースが不足しているため	1	3.0%	0	1	0	0
人の集まる場所に行きたくない(感染防止)ため	5	15.2%	0	2	3	0
図書館を利用する必要性を感じないため	14	42.4%	1	5	7	1
その他	3	9.1%	1	1	1	0

その他・・・

- ・読みたいと思った本が既に借りられていることが多く、自分がいつ借りることができるのか目安をたてられないから。
- ・WEBで調べるか専門書を購入しているため。
- ・本をそもそも読まないから。

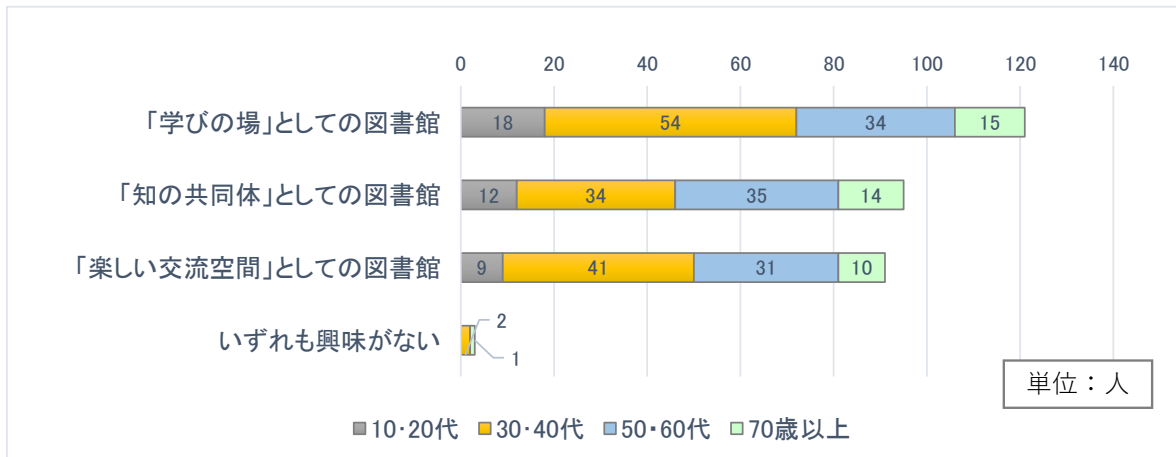


◇「杉並区立図書館サービス基本方針」についてお尋ねします。

問9 「杉並区立図書館サービス基本方針」は、平成25年に作成し、10年後(令和4年)の図書館のあるべき姿を示したものです。3つの視点に書かれた内容について、あなたが興味・関心あるものをお答えください。(〇はいくつでも) 必須

n= 166

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合				
「学びの場」としての図書館	121	72.9%	18	54	34	15
「知の共同体」としての図書館	95	57.2%	12	34	35	14
「楽しい交流空間」としての図書館	91	54.8%	9	41	31	10
いずれも興味がない	3	1.8%	0	2	0	1



問10 「杉並区立図書館サービス基本方針」を読んで、どのような印象を受けましたか。(〇はいくつでも) 必須

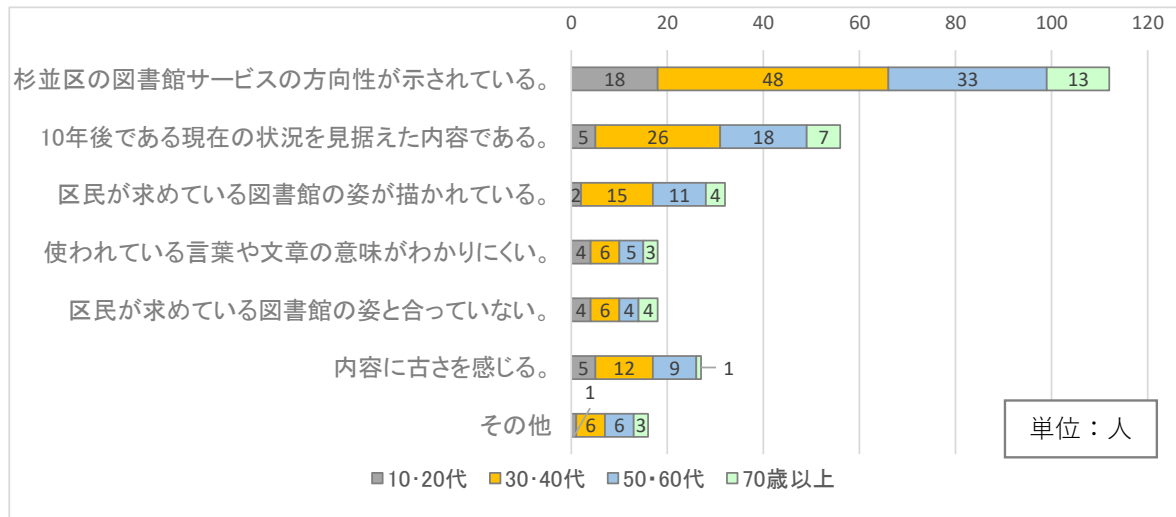
n= 166

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合				
杉並区の図書館サービスの方向性が示されている。	112	67.5%	18	48	33	13
10年後である現在の状況を見据えた内容である。	56	33.7%	5	26	18	7
区民が求めている図書館の姿が描かれている。	32	19.3%	2	15	11	4
使われている言葉や文章の意味がわかりにくい。	18	10.8%	4	6	5	3
区民が求めている図書館の姿と合っていない。	18	10.8%	4	6	4	4
内容に古さを感じる。	27	16.3%	5	12	9	1
その他	16	9.6%	1	6	6	3

その他・・・

- ・「ALL IN ONE」、「1か所で何でも有り」の感がある。
- ・各機能を一か所の図書館に盛り込むのは、現実的ではないのではないか。
- ・各図書館毎に機能を割り当て、それぞれに特色ある図書館で構わないと思う。
- ・利用する方々の世代も様々で、目的も多様である。それぞれに合った方針内容になっていると思う反面、総花的とも感じる。もう少し、杉並区らしさを表現できたらいいと思う。3つの方針の上位にくるものは何か、などを議論し、シンプルで心に残る表現ができたらいいと感じる。
- ・図書館を利用して学ぶことは多いと思うが、いろんな人との交流の場を広げ進化しようとしているとは思わなかった。

- ・「学びの場」「知の共同体」「楽しい交流空間」というコンセプト自体がそもそもずれているように思うし、視点と中身も噛み合っていない。
- ・電子書籍の話が出ていたので、将来的にはデータでの貸出し(期限内だけネットを通じて閲覧できるようなシステムを講じる)もあるといいなと思いました。また、イメージばかりが書かれていて具体的にどんなことをするのか伝わりませんでした。
- ・ありきたりに感じたのは、それが現在実現できているからなのか、杉並ではできていないが、一般的なものとなっているからか。
- ・10年前ゆえ仕方がないことですが、現状では他にもあるとよい項目があるのではないかと思います。
- ・人により感じることは様々であるのを、共同、協働、共になどの言葉で具体的というより美化している感がある。
- ・私は読解力が低下しているので、難しく書きすぎ？何を言いたいのか少しわかりにくかった。かと言って、同じ内容を書いている文章があるような。もう少しわかりやすくしてほしい。
- ・3つの視点は情報先取りされていたと思う。杉並は住みやすいと区民は恵まれているのに！と思える。



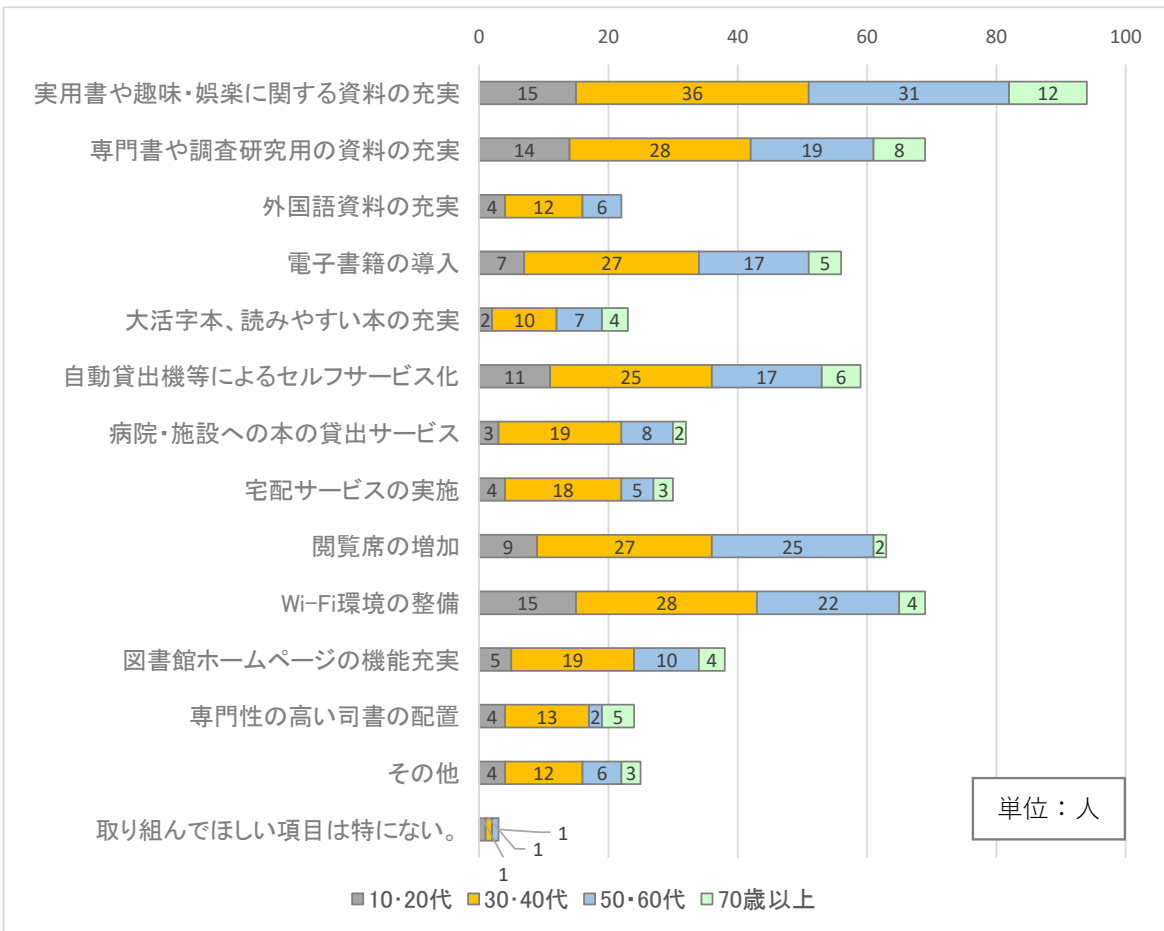
問11 「区民の「学びの場」として10年後の図書館に向けて、取り組んでほしいのはどの項目ですか。(〇はいくつでも) 必須

n= 166

	全体	10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
実用書や趣味・娯楽に関する資料の充実	94 56.6%	15	36	31	12
専門書や調査研究用の資料の充実	69 41.6%	14	28	19	8
外国語資料の充実	22 13.3%	4	12	6	0
電子書籍の導入	56 33.7%	7	27	17	5
大活字本、読みやすい本の充実	23 13.9%	2	10	7	4
自動貸出機等によるセルフサービス化	59 35.5%	11	25	17	6
病院・施設への本の貸出サービス	32 19.3%	3	19	8	2
宅配サービスの実施	30 18.1%	4	18	5	3
閲覧席の増加	63 38.0%	9	27	25	2
Wi-Fi環境の整備	69 41.6%	15	28	22	4
図書館ホームページの機能充実	38 22.9%	5	19	10	4
専門性の高い司書の配置	24 14.5%	4	13	2	5
その他	25 15.1%	4	12	6	3
取り組んでほしい項目は特にない。	3 1.8%	1	1	1	0

その他・・・

- ・個人の学習、仕事ができるようなワーキングスペースの拡充。
- ・閲覧雑誌類の増加
- ・小規模でもよいので、取り寄せ貸出や返却ができる場所を増やしてもっと身近にしてほしい。
- ・開架資料が少なすぎる。文庫でしか読めないものがあるのに、単行本ばかり優先されている。
- ・リクエストしたときに他館からの取り寄せではなく極力購入してほしい。
- ・乳幼児連れが可能な閲覧席をより充実させてほしい。
- ・ゆったりと読める空間にしてほしいです。埼玉の図書館が着心地良く好きでした。
- ・椅子をたくさん置いてほしいです。
- ・台湾のように、床に座ったりして自由に読める雰囲気も良いです。
- ・開館時間の延長と、駅近にも立地してほしいです。難しい場合は、駅に返却ボックスがほしい。
- ・宮前図書館を学校に併合せずに、新しい施設として独立させてほしい。
- ・ビデオ、動画資料の閲覧スペース
- ・人気の書籍は長期間の待機時間が発生するので、電子書籍をうまく活用し、待機時間を少しでも短くしてほしい(電子書籍に偏り過ぎることには反対)。また、返却期限を厳守する仕組みを策定してほしい。
- ・地域の郷土史に関する資料の充実。
- ・専門性の高い司書の配置と同時に、各分野を横断して総合的な助言や提案ができる総合司書をぜひ育成・配置してほしいと思います。社会に情報が氾濫し、専門化・細分化の方向にあります。ひいてはそれは個人の小さな世界に閉じこもる傾向を引き出します。細切れな情報をつなぎ、人と人、資料と資料をつなぐ人材がこれからの社会に必要です。それがダイナミックな図書館運営につながり、杉並を豊かな区に育てていくことにつながると思います。
- ・PC、スマホ電源箇所含め利用席の設置。
- ・全ての項目に取り組んで欲しいですが、加えて閲覧席での書籍の検索(知りたい内容から適切な書籍を検索)、閲覧(タブレット端末などで試し読みができ、内容を確認可能)、読み上げ機能(自前もしくは備え付けヘッドフォンにより、内容を読み上げたものを聞くことができる)などの機能があるとよい。
- ・中央図書館の自習スペースははとともよいように見えた。
- ・図書館ホームページは非常に使いづらい。貸出期限の延長も一件ずつ選んで延長しなくてはならず使いづらい。改善して欲しい。
- ・小学校に読み聞かせに来ていただいているが、高学年には少し物足りない様子であると感じます。時代や最近の時事問題や自分で考えたりする内容や気づきが求められるような読み聞かせでも良いかと思えます。
- ・机を増やしてほしい。
- ・勉強スペースを増やしてほしいです。
- ・図書館のランクがあってもよいと思う。教養を身につける場にする。



問12 区民の「知の共同体」として10年後の図書館に向けて、取り組んでほしいのはどの項目ですか。(〇はいくつでも) 必須

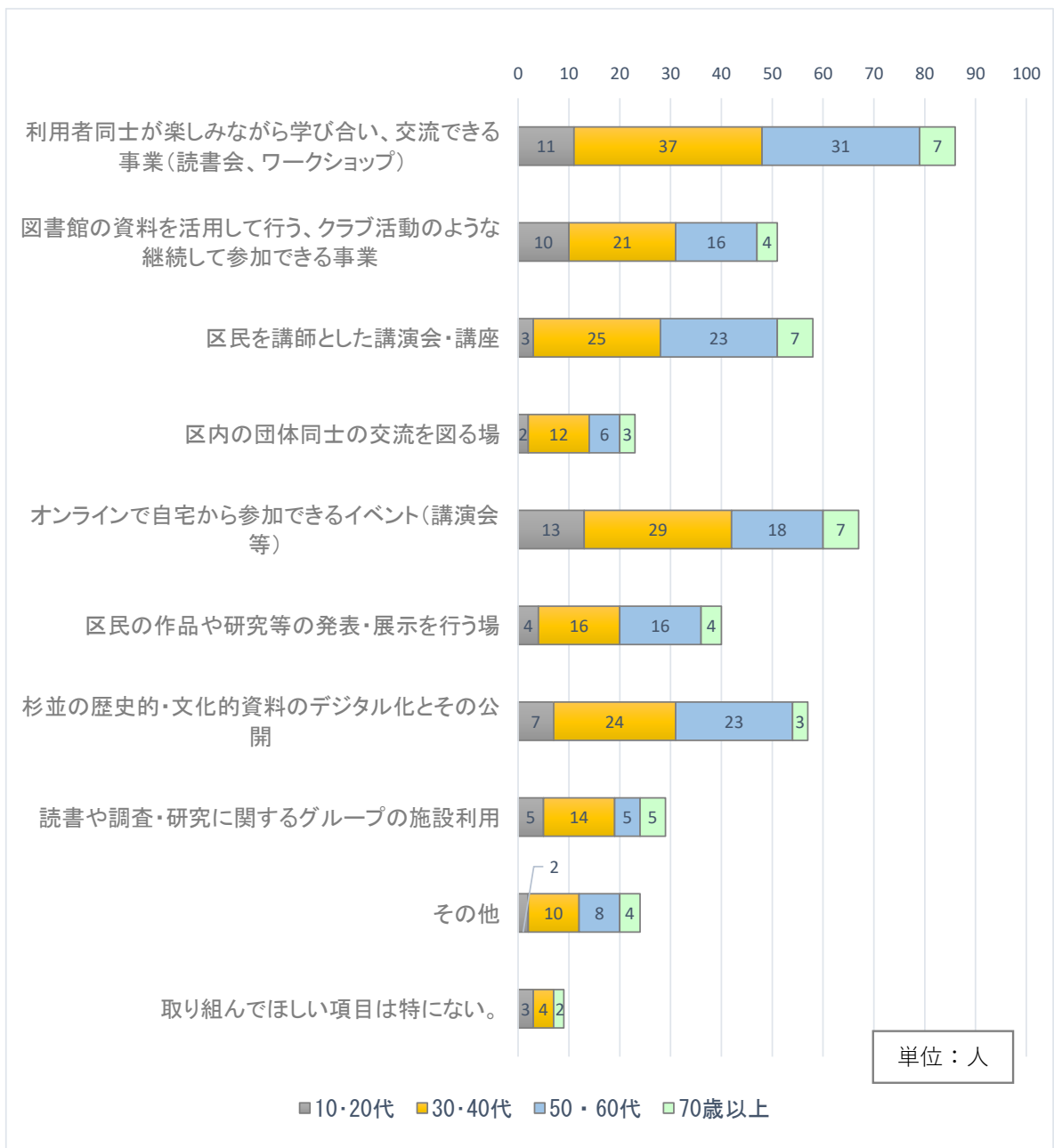
n= 166

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合				
利用者同士が楽しみながら学び合い、交流できる事業(読書会、ワークショップ)	86	51.8%	11	37	31	7
図書館の資料を活用して行う、クラブ活動のような継続して参加できる事業	51	30.7%	10	21	16	4
区民を講師とした講演会・講座	58	34.9%	3	25	23	7
区内の団体同士の交流を図る場	23	13.9%	2	12	6	3
オンラインで自宅から参加できるイベント(講演会等)	67	40.4%	13	29	18	7
区民の作品や研究等の発表・展示を行う場	40	24.1%	4	16	16	4
杉並の歴史的・文化的資料のデジタル化とその公開	57	34.3%	7	24	23	3
読書や調査・研究に関するグループの施設利用	29	17.5%	5	14	5	5
その他	24	14.5%	2	10	8	4
取り組んでほしい項目は特にない。	9	5.4%	3	4	0	2

その他・・・

- ・区民が読んだ良書を「オススメ本」として情報発信し、共有を図るしくみ。
- ・知の共同体という言葉の意味がわからなかった。
- ・自宅で処分するにはもったいないが、寄付したい本があるという方がいます。図書館の方をわずらわせずには、と謙虚になっておられます。予約制でもいいので、本の寄贈をやすく、ポスターなどでお知らせして下さると、寄付しやすいです。蔵書が膨らんでも申し訳ないのですが、できる範囲でご検討くださると幸いです。
- ・ビブリオバトル(本の紹介コミュニケーションゲーム)、やってほしいです。
- ・区民のもっている知識、興味、関心が「図書館」という場を通じて、共有でき、それぞれのこころの充実につながっていけば、素晴らしい。
- ・郷土資料は大切に管理してほしいと思います。
- ・子供向けのお話会や映画など土日などももっと開催してほしい。
- ・居場所事業(居場所や交流の少ない人たちが集いながら学べる場を展開できると良いです)
- ・さまざまな障害をお持ちの方も、その共同体の輪に入れて欲しい。入りたくても障壁が大きい。
- ・「区民を講師とした講演会・講座」とあるが、講師を区民に限る必要は全くない。
- ・障がいを持つ人へのサービスの拡充を急いでほしいと思います。点字書籍、オーディブル(音声書籍)の充実を急ぎ進め、たくさんの人たちが本を楽しめる豊かな知の共同体として世界に胸を張ることのできるような施設を作ってほしいです。そのためには点字書籍、オーディブル製作を区民ボランティアが担ったり、目のみえない人と一緒に新聞や本を読む会を開催したりといったことも取り組み、障がいともつ人とそうでない人がそれぞれの立場から「知」にアプローチできるような機会と場所を図書館が提供していくことができると良いと思います。そのような機会があればぜひ参加したいです。
- ・20代が本当に興味を持って参加できる、質が高く文化的な講座がほしいです。
- ・区内外の大学と提携した展示を行うことで大学教育の充足・向上、学生の主体的な発信の場になり良いと思います。区民の展示ですと従前からある一部の市民団体の独壇場になっていて興味がわきませんが若い人の展示なら応援したい気持ちになります。もちろん生涯学習を否定するものではないですが若い世代も巻き込んだ展示になればいいなと思っているのが主旨です。

- ・対象年齢問わず教育、勉強のボランティア。高齢者と若者との職業、人生、本の知識、体験談の交流、悩み相談のボランティア活動。
- ・現在では、ほとんどのことはWEB検索などで知識を得ることが出来ると思います。それであれば、「正しく検索する方法(知りたい内容に正確に短時間でたどり着く方法)」や「情報の正誤を判断する方法(正しい情報か間違った情報か)」、「踏み込んだ情報を得る方法(WEBでは中途半端なものが多く、書籍による更に踏み込んだ内容へ導く方法=ここは図書館にしかできないこと)」などのレクチャーがあるとよいのではないのでしょうか。ワークショップという一時的なものではなく、常時的(図書館に担当者がいる、WEBでチャットなどで対応できる、など)に行えるとよいのではないかと思います。
- ・資格取得できる場。
- ・専門の講師の講演会、講座。
- ・調べ物の学習室を年代別にわけてほしい。
- ・杉並の歴史的・文化的資料のデジタル化は是非とも進めてほしい。杉並の歴史資産、文化遺産をもっと外にアピールしたい。
- ・何か一つをテーマを設け、その講義を行う。例えば地域金融機関の担当者を招き、投資や金融の仕組み、創業支援などの講義を行ってはいかがでしょうか。
- ・子供が勉強を楽しみと思える環境づくり。ムーミンの著者であるトーベヤンソンが病院の壁画に絵を描いたりして子供を楽しませたことがあります。いろいろ工夫して日本の未来を担う子供が図書館に行きたいと思える環境や工夫があれば、より良い図書館になると思います。



問13 区民の「楽しい交流空間」として10年後の図書館に向けて、取り組んでほしいのはどの項目ですか。(〇はい/×いいえ) 必須

n= 166

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
図書館業務(書架整理、本の修理等)についてのボランティア募集	43	25.9%	4	21	14	4
読み聞かせや音訳資料作成ボランティアへの研修実施	51	30.7%	3	25	15	8
カフェ、飲食可能スペース等の設置	102	61.4%	18	44	33	7
会話が楽しめる場所の設置	55	33.1%	11	26	14	4
サイレントルーム(静かに読書ができる部屋)の設置	73	44.0%	8	37	23	5
高齢者が過ごしやすい場所の設置	53	31.9%	2	16	25	10
乳幼児向けの設備(授乳室、おむつ交換台、幼児用トイレ)	55	33.1%	7	25	17	6
閲覧席への座席管理システム(予約制、時間制限)の導入	48	28.9%	9	23	12	4
印刷物やホームページのアクセシビリティ向上(色や文字の配慮、読み上げソフト対応等)	23	13.9%	3	12	7	1
その他	23	13.9%	3	10	7	3
取り組んでほしい項目は特にない。	7	4.2%	3	0	1	3

その他・・・

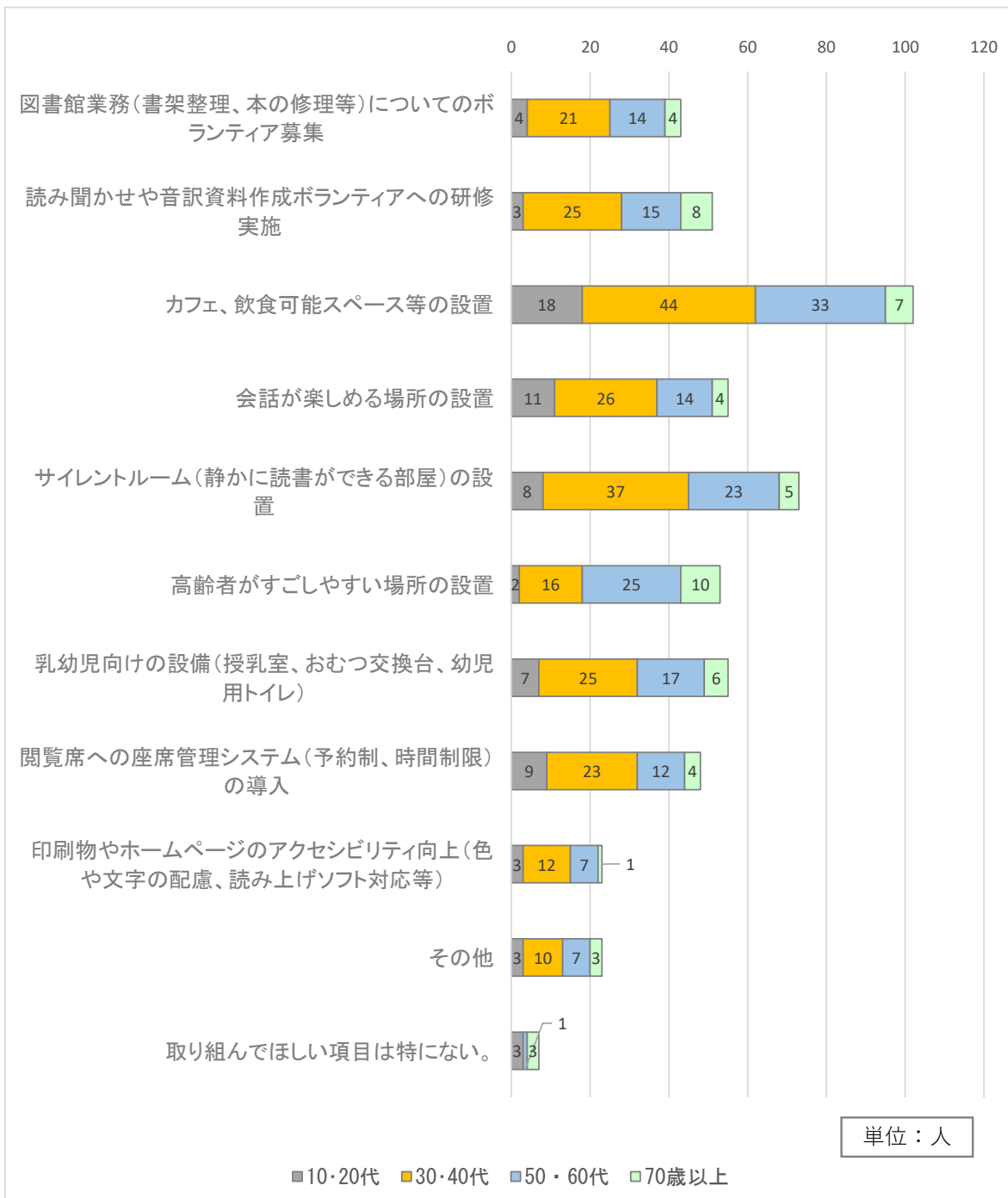
- ・会話は、カフェなど限定されたスペースで有効とする。
- ・「公的施設は無料」という概念を自治体、利用者も捨て、有償サービス、施設(カフェ含む)も積極的に提供する。
- ・一部有償化など、メリハリのある施設・サービスが望ましい。
- ・平日日中に行くと、寝ているシニアで椅子が占拠されており、座れる場所がないことがある。図書館は静かに利用していれば寝ていても構わないと思うが、座れるスペースはもっとあった方が良いと思う。
- ・子供のプログラミング教室のような、本格的には手を付けにくいものの、将来必要な経験の一步目を楽しみながら得られるような体験提供。
- ・介護、子育て、などテーマを決めてのフリートーク、おしゃべりタイム！などのイベントを区役所や図書館でお知らせして下さると有難いです。孤独になっている方々が、少しでも気持ちよく過ごせるようになって欲しい。
- ・子供の成長・育成につながるボランティア活動をしたいと思っている中高年者は多いと思う。図書館運営を通じて、それを実現できれば素晴らしい。
- ・中央図書館のようなカフェなどがあると嬉しい長時間楽しめます。
- ・図書館に楽しい交流という要素を考えたことがなかったので驚きました。自分ならどんな交流がしたいか考えたら、指定図書を決めての読書会で交流するというのがいいなと思いました。近隣に知人ができそうです。
- ・さまざまな障害をお持ちの方も、その交流空間の輪に入れて欲しい。入りたくても障壁が大きいように思われる。
- ・蔵書の充実。これに尽きる。「カフェ・飲食」「会話を楽しめる」などを図書館に求めるのはまったくの邪道。ならばカフェに行けばいい。「高齢者が過ごしやすい」の定義もよくわからない。「みなが過ごしやすい」の一番では？
- ・図書館業務のボランティアは無償ではなく(金銭ではなくとも)有償の方でやってください。
- ・電子書籍サービスなど、IT化を進めてほしい。著作権上持ち出しに問題があるものについては、館内で見れるタブレットに電子書籍が見れるサービスを導入してほしい。
- ・少子高齢化がさらに加速されるので、子供が多少騒がしくてもよい場所と高齢者が静かに過ごせる場所が共存できるような環境を整備してほしい。
- ・本のコンセルジュ。依存ではなく、自立したシニアライフのため若者からのITボランティア活動。
- ・閲覧の席、学習できる席をもっと増やしてほしい。
- ・子ども向けコーナー・スペース・イベントの充実。

・中央図書館を主に利用しています。子ども向けに靴を脱いで絵本を読むスペースや、中庭のちょっとした芝生、隣の公園などがありますが、屋内にキッズスペースがあるとよりありがたいです。なぜかという以前子どもと絵本コーナーに行ったときに子どもが次々に絵本を取り出して親はひたすらそれを片付けるだけに追われたからです。まともに絵本を読んであげることができず疲弊するだけで家にいた方がマシでした。数冊の絵本を持って、落ち着いて読み聞かせができるスペースが別であればありがたいなと思いました。

・自習スペース(閲覧席?)で学習してみたいと思ったが満席で利用できなかった。時間制限が良いのかは分からないが、利用できるシステムがあると良い。

・複数人で利用できるような閲覧スペースの工夫。家族やカップルで気軽に立ち寄り、数時間落ち着いて過ごせるような閲覧席があれば利用したい。

・18ヶ所の図書館のレファレンスサービスA・B・Cと特徴あってもよい。



問14「杉並区立図書館サービス基本方針」について、ご意見やご感想をご記入ください。

(1) 計画全体について

- ・何と多くの方々の知恵、知識、思いが積み重なった結果がまとめられていて、素晴らしいと思う。
- ・モニターアンケートのため初めて目を通しましたが、簡潔にまとまっていて良い資料だと思いました。見やすかったです。従前は蔵書目的、研究目的の意味が強かった図書館という機能が、時代の流れでよりふれあいの場としての機能を求められるようになったことが伝わってきました。
- ・これまで図書館の「待ちのイメージ」から、より「積極的な進化」を目指すものとして、共感できる。
- ・現状の問題点を抽出し、そこから今後の具体的な方針が書かれているとより良いと思います。
- ・未来の図書館像を描くとともに、その目的をより明確にすると尚良いと感じます。図書館は「本」がすべての始まりであり、「本」から何を区民に対して価値提供するかという目的を明確にすると、目指す図書館像も明確になるのではと考えます。
- ・健常者であることが前提になっているので、全ての区民が利用できることを前提とした基本方針が必要と考えます。
- ・ITリテラシーの低いシニア層・子どもたちに対する手厚いフォローを感じた。それと同様に様々な障害をもつ人たちも、健常者と同じく図書館サービスを活用できるよう更に意識して欲しい。
- ・子どもが読んでもわかる内容にして欲しい。つまり、読んでもみたいなあ、わかりやすい日本語を使って欲しいです。
- ・図書館サービス基本方針はあまり達成できていないと感じる。全体的に抽象的で何がしたいのかわからない。

(2) 10年後の図書館像について

- ・10年先を見据えた取り組みを行っていたことを今回初めて知りました。既存概念や従来のやり方などに囚われずに、区民にとってより良い施設を作っていくとする区の姿勢がとても良く分かりました。
- ・電子書籍の導入が計画されていることに驚きと嬉しさを感じました。仕事柄、専門書を読む必要性が増え、専門書は高額なので図書館を利用する機会も増えました。たまに画面を通した会議の際に、書籍に引用されている図表をシェアしたいと思うのですが、紙の書籍だとそれができません。電子書籍ならば上手に引用しながら説明することも可能かも知れないと思いました。期待しています。
- ・10年後の図書館像にある「個の学びの場」「自己実現支援の場」実現に向け、いつでも利用できて、ゆとりのある居心地のよい図書館づくりをめざして、サービス向上に邁進してほしいと思います。
- ・10年前と比較して現在どのくらいのことが実現できているのか、分かる資料もあるとよりアンケートに回答しやすくなると感じました。
- ・今回の図書館サービス基本方針の策定の背景と趣旨および位置付け並びにこれらに基づく「10年後の図書館像」や「3つの視点と取組の方向」について、その目論見を拝見しましたが、自治体におけるサービスサポート機関として、実に木目細かな考え方が述べられており感服しました。また、この分野における区民のニーズをかなり深掘りされた内容であり、的確に時流を捉えられているように感じます。
- ・[施設・設備がユニバーサルデザイン化]など、当時描いた10年後と現状の総括は必要かと感じます。
- ・平成25年に策定された杉並区立図書館サービス基本方針を拝見すると、その策定にあたって情報化社会やICTの活用が考慮に含められている一方で、10年後の今日を踏まえると、ややズレているという印象を拭いきれない。新型コロナが私たちの日常を破壊し、完全在宅勤務など、不可逆的な社会の変化が次々に起こりうるような今日の社会では、区立サービスの基本方針の策定には、ますます柔軟性が必要であると考えます。つまり、そもそも「10年」という期間の設定が間違いであり、もっと短期的な目標設定・中長期的な目標設定を行った上で、これを頻繁に見直すような俊敏性の高い計画づくりが必要不可欠であると考えます。
- ・10年計画とのことだが、途中で振り返りはおこなわれているのか疑問。例えば企業の中期経営計画だと、10年間の目標設定だと、目標自体の微修正や見直しを行わないと、陳腐化してしまう。平成25年に制定されたこの計画自体の見直しは行われているのかどうか気になった。
- ・10年後の姿にもありますが、情報通信技術を利用し、誰もがどこからでも図書館の資料を活用できる仕組み。高齢者の誰もが利用できる楽しい交流空間は嬉しいです。

(3) 3つの視点

- ・基本方針が策定されて、10年が経過した今、3つの視点を取り組みの方向は評価できると思います。この間の通信網、IT、デジタルトランスフォーメーション等の進展度合いがサービスに結びついている。これからも3つの視点を継続して欲しい。更に望むことは日本国憲法で「国民の3つの義務と権利」に関して、少年、青年、成年対象に教育、勤労、納税義務を守る、この重要なことを読書センター、学習センター、情報センターに入れて欲しい。
- ・3つの視点に対する【取組の方向】が、各々ターゲットとなる層が明確になっていて、「自分があてはまる」という内容になっているとより良いなと思いました。例えば、「学びの場」という視点の場合、乳幼児・小中学生・高校大学生・社会人・専業主婦(夫)・高齢者・介護施設、病院にいる高齢者 各世代によって取り組んでほしい方向性は異なってくると思いますが、基本方針に記載されている内容は色々なターゲットを混ぜて、ふわっと書かれてしまっている印象でした。

- ・「公共図書館」と「子育て支援」というサービスはとても親和性が高く、連携することで、価値高いサービスを生むことができると思います。杉並区の基本構想でも『次世代を育み 引き継ぐ』という理念があります。子育て世代(働く世代)が、杉並区に住みたい・ここで育てたいと思う施策は、税収も含め、区の活性化のためにもとても重要だと思うので、広義での「次世代を育む」施策が図書館でもあるといいなと思います。子どもが入園や入学等していけば、地域とのつながりや連携場面が勝手に増えていきますが、未就学児を持つ親と地域をつなぐ場所は、簡単には手に入りません。そのため、子育て支援サービスとして、色々なリーチ策がある街はとても魅力的に感じるなと思います。図書館が地域とつながり・同じ環境の人たちとも出会える場になり、子どもにとっては、小さい頃から本に触れ・借りたりする行為が当たり前になっていくという施策があると、図書館を通じた杉並区の明るい街像が見えてきていいなと思います。
- ・方針を読み、無縁社会が進むことによる精神的な貧困による生き苦しさに対応するためのコミュニティの重要性が示されているように思い賛同できました。その上で、民間でもさまざまなカタチで取り組まれていることから、それらと競合関係にならないよう、官民それぞれの持ち味が発揮されて地域全体の豊かさに発展することを期待します。また、知の共同体についても賛同できました。前に住んでいた地域では、市民の研究がレポートとして参照できて学びになりました。杉並区でもされていると思いますが、多くの区民の目に止まる工夫がなされ活かされるといいなと思いました。
- ・「専門家の育成・活用」を強力に推進し、高度で専門性のある知見を身近で得て、区民の文化向上に寄与されることをお願いします。
- ・学びの共有に関して、様々な分野の専門家が参加され、講演してほしい。(科学、芸術、文学、数学など)
- ・学びの場として自習スペースを設けてもらいたい。
- ・「知の共同体」は個人的にとっても興味を引かれる方針でした。杉並区でお子さんのいる家庭向けに家族で学べる場を提供できたら素敵だと思います。例えば、近年義務教育でプログラミングや資産形成など新しいジャンルの科目が組み込まれているので、それらに関連した事を分かりやすく楽しく学べる機会があると良いと思いました。教育意識の高い親御さんは参加させたいと思うのではないのでしょうか。
- ・知の共同体として、特に外部の人材や専門家を活用した講座や講習会の数多くの実施をお願いします。その場合に、区その他施設とのすみ分けが必要と感じます。様々な催しや企画展を行なっているとあるが、正直、余り知らないのもより以上のPRの必要があると感じます。高齢者は、なかなか杉並ネットから情報を取るのは、難しいのではないかと。
- ・楽しい交流空間としての図書館の姿に期待しています。お年寄り(高齢者)や、子どもが多く利用しているというイメージですが、中年層や若者にも魅力的なサービスの提供があれば行ってみたいと思えるのではないのでしょうか。
- ・楽しい交流空間がよいと思いました。図書館は個が強く一人で探して決めて借りて終わりのような一連の流れしか経験していないのもう少し図書館としての機能を超えてワークショップや講演会などの拡充に期待します。特に土日など休みの日に行ってほしいです。
- ・「楽しい交流空間」は全然感じる事が正直できません。閉鎖的に感じてしまいますし、担当者がPCを見て座っていますが何を声かけたらよいかもわかりません。イベントも子供向けならあるのかもしれませんが積極的に開催されているようには思えないのですがいかがなものでしょうか。
- ・人との交流が難しくなる時代だからこそ、安心安全に図書館の空間を活かし世代間交流の場として利用できる場になってほしい。
- ・図書館は、子どもにとって比較的ハードルの低い居場所にもなりえます。何かを言われる訳では無いが、職員の方々の目があり安心できる場所でもあります。高齢者にとっても同じことが言えます。さまざまな可能性のある図書館の利用のあり方を区民として考えていければと思います。
- ・普段は永福図書館に行くことが多いが、基本方針に書かれていることが実現されつつあるように感じた。一方で、他の図書館に行くとまだまだ以前と変わっていない点が多くあると思う。永福図書館は図書以外でも地域の人と交流が持てるようなイベントが多世代にわたって行われているのが魅力的で、楽しいと思う。
- ・「専門家の育成・活用」という点に共感いたしました。専門性の高い司書さんが活躍できる場が増えることを期待します。
- ・とても素晴らしい基本方針と感じました。外部との交流や専門家の協力も、発展のために大切なことではありますが、区立図書館で働くということに、子どもたちや若者たちが夢を持てるよう、司書やその他関係者の報酬を高水準にしてほしいです。また、郷土資料や杉並区所縁の人物の資料等を今以上に充実させ、区外から来訪する方からも、地元で根ざす区立図書館ここにあり！と思われるような素晴らしい蔵書を揃えていただけると嬉しいです。
- ・もっと我々区民のコミュニケーション能力アップして、コミュニティ活動が盛んになるような工夫をして下さい。更にもっと図書館という呼名は古すぎます。未来志向のメディアセンターに変えましょう。
- ・本離れなどが進んでいる中、図書館という施設が多様な利用目的のもと、活用されていってほしい。
- ・学生時代は、試験勉強で図書館を利用することがありましたが(他県在住時)、社会人になってから「図書館」の存在を意識することもなくなり、今回のモニター活動で初めて杉並区の図書館の存在に気づきました。引越しや、私のように図書館の存在を忘れていた人向けにチラシ投函があってもよいのかなと感じました。
- ・図書館は「そこに本がある」という古典的な施設というイメージを持っておりましたが、現代の図書館はサービス拡充や変化に取り組み、進化をしているということに大変興味を持ちました。

(4) その他

- ・アメリカなどでは図書館が市民的教養や批判的思考を涵養する知的拠点として、さまざまな政治的圧力を受けながらも重要な役割を果たしているように思います。図書館の果たすべき役割はますます多様化していますが、他自治体のように民間事業者にまかせて取り返しのつかないことになってしまわないように、現在だけでなく将来の区民のためになるような図書館を目指してほしいと思います。
- ・杉並区の限られた予算の中で将来的な夢を追うような構想は難しいのではないかと思います。現下の状況の下、立派な運営をされておられることの裏返しであるとも思います。
- ・全般に抽象的な文言が多く、「とりえず文書の体裁を整えた」だけで「やった」感を出してませんか？御託より実行が大事です。
- ・基本方針なので抽象的にならざるを得ないとは思いつつも、具体的な取り組みの事例を盛り込んでもらったほうが解りやすいと思いました。
- ・図書館でないといけないサービスとは何かをもう一度深く考えてほしい。(学校図書館とは違う点は何か、とか)
- ・今の図書館も充実しているが、まだコミュニティの場所にはならないと思う。利用者の年代に偏りがあると思うので、皆が利用しやすい図書館サービスを目指せるようにしていただきたいと思います。
- ・図書館と区民センター、公民館の役割に、似たものが含まれているように感じます。基本方針とは別の話かもしれませんが、それぞれ個々に考えるだけでなく、全体として区民にどのようなサービスを提供していくのか、というまとめがあると、より分かりやすいように感じます。
- ・新しい事柄に接し色々な知識を取り入れる場所としての図書館の利用がもっと通いやすくなると良いと思います。
- ・図書館業務をするのは、ボランティアも良いが、図書館の事をする訳なので、何かしら手当てを考えることも検討してほしい。ボランティア活動は若者はやりたくても、続けるのに限界がある。
- ・図書館の魅力度がアップするような、行きたくなるようなアイデアがもっとほしい。デジタル化がどんどん進化してく中、本の紹介の仕方や学ぶ意味など根本的に変えていく必要があると思う。
- ・デジタル化により個人と知を繋ぐプラットフォーム作りに注力してほしい。また、図書館を建物であると定義せずに、インターネット上の仮想空間と融合させて、デジタル図書館、メタバース図書館を目指して欲しい。著作権法に詳しい弁護士をスタッフに加えることがプランの骨格作りには欠かせないと思う。
- ・世の中の電子化に伴って図書館も電子化を進めるのは当然ではあるが、逆に敢えてアナログ的なものの良さも再度見直すことが必要なのではないかと思います。ヒトの口から語られる「紙芝居」「読み聞かせ会」、あるいは弁士が語る「無声映画」など、子どもたちを対象にした肌と肌の接触のある催し物を拡充していくことを望みます。
- ・電子化が進む時代に図書館の在り方は取っても難しいと思いますが、例えば新聞など、家庭では紙ごみ削減のために電子版に切り替えていっても図書館には紙面版を閲覧できるなど、あえて世の中に逆行するような場所であってもよいのではないかと思います。また、知の共有など、とても素晴らしいのですが、勤労世代はなかなかその時間を作ることも難しいのが現状です。解があるわけではありませんが、全世代を巻き込める施策があればうれしいです。
- ・いずれにせよ、地域の資料庫として地域の郷土史に関する資料の充実は継続していただきたい。
- ・私は図書館が好きです。子どもの頃から、図書館にはお世話になっており、本を大切に扱うよう心がけております。ゆえに、乱暴な扱いの本を見るのは辛いです。
- ・子供に図書館の魅力を伝えることについては大変工夫されている。高齢者にもっと足を運ばせる工夫が必要では。
- ・全年齢・全方面をターゲットに進めることはとても大変だと思いますので、「これからの杉並区の図書館のターゲット」というものを絞ってみてはいかがでしょうか？10年前に「10年後の在り方」というものを作ったのもその1つだと思いますが、漠然としすぎている気がしました(大きすぎるのではないかと思います)。図書館ごとにターゲットを変えてもよいかもしれません。若者中心とする、ご老人や在宅いや医療向けとする、コミュニケーションの場に特化する、などもう少しターゲットを絞ると進めやすく利用する側もわかりやすいのではないかと思います。
- ・夏休み等の長期休みに近隣の小学生が参加できるワークショップなどあればいい。専門的な本を元に自由研究の足がかりになるようなものとか、本で調べる楽しさとかを知る機会になったら良いと思う。また、高齢者がお茶を飲みながら集まれるような憩いの場になるのもとても良いと思う。
- ・図書館がもっと身近になるようなイベントの開催や、予算はあると思いますがカフェスペースやきれいな環境だとさらに人もからと思います。子供からお年寄りまでまた楽しめるような図書館を今後も望んでいます。
- ・渋谷区のように書籍の自動化貸出機の導入を早急に願いたい。

◇「これからの杉並区の図書館に求めること」についてお尋ねします。

問15 図書館の施設・設備について、ご要望・ご意見がありましたらご記入ください。

【施設面】

- ・中央図書館の近くに住んでおりますが、改装後は綺麗になり、満足しています。
- ・図書館を利用していますが、たいへんきれいに整備され、使いやすい施設と感じています。ありがとうございます。
- ・中央図書館はとてもきれいでした。しかし、図書館によってはやや汚い印象を受けます(特に座席)。そろそろ買い替えをご検討されてはいかがでしょうか。ほかは気持ちよく利用させていただいております。
- ・区内全ての図書館を中央図書館程度の機能・設備とする。
- ・視聴覚室の充実。
- ・以下は今後の施設要件となります。
10年を待たず、可能な限り早い対応をお願いしたいと思います。
*Wi-Fi 対応
*子供・幼児 対応
*車椅子等、ハンディキャップのある方への施設的な対応
- ・手動のドアを自動にしてほしい。
- ・本の検索機を増やしてほしい。
- ・子供のスペースを広げてほしい。
- ・とにかく子供たちとパパやママと一緒に来れる居心地のよい素敵なスペースがほしい。今川図書館の2階のようなスペースがあるとよい。イメージとしては、本がある遊び場のようなところ。また、私は柿木図書館が最寄りだが、建て直しをしなくてもよいが、もう少しリフォームをするなどして素敵な場所にしてほしい。お年寄りのためにも、バリアフリーにも力をいれてもらいたい。
- ・気楽に座れるソファの設置。
- ・特に中央図書館についてですが、訪問した際に思うのは座席がいっぱいで利用したいのに利用できないということがなく、必ず空いている席があり、いつでも利用できる状況であることに好感が持てます。(利用時期、利用時間にもよりますが)このようにいつでも誰でもストレスなく利用できる環境を継続していただきたいと思います。
- ・予約制だと楽でいいなと思います。
- ・図書館では、コロナの影響を受けて閲覧席にパーテーションができたが、コロナ後も続けてほしい。というのも、今まで相手の席の状況が丸見えで集中できなかった。図書館が21時までやっているのが本当にありがたいのでこれからも続けてほしい。
- ・混んでいる時は座る場所がなかったりしてゆっくりと選べなかったり受験生などが席をとりずっと利用しているため席数の増加をお願いします。
- ・広さによりますが座席を増やして欲しいのと、予約制にするなど長時間の利用者が居座ることのないシステムを導入していただきたいです。
- ・荻窪図書館のように、広く多くの人が利用できる自習スペースがもっと広がれば、中高生が勉強ついでに図書館を利用する機会がもっと増えると思う。
- ・図書館の椅子で居眠りしている人がいて、座りたい場所がないことがある。
- ・飲食出来るスペースがあると良いと思います。子ども専用の閲覧室(図書館教諭付き)を増やしてほしいです。静かに読書出来る場所と話しても良い場所を分けると良いかと思います。
- ・コピー機、冷水機、休憩室(飲食スペース等)
- ・ゆっくりと読書を楽しめるようなスペースを作り、カフェのような施設を作れば、年齢問わず利用者は増えると思う。
- ・自動販売機が近くに設置されていると、水以外の水分補給ができるので、長時間利用する場合にたすかります。
- ・さまざまな年代、赤ちゃんとママ(パパ)から高齢者までが安心できる居場所としても図書館はあります。静かに読書も出来る場所は勿論、飲食可能スペース、カフェなどがあると良いと思います。
- ・清潔さ。座席数の確保。目的ごとのスペースや、リラックス出来る座席など、色々考えてもらいたい。
- ・飲食スペースや閲覧場所・コワーキングスペース等が増えてほしい。色々な使い方ができるスペースがあれば、より多くの人々が気軽に利用できる図書館になると思う。
- ・杉並区の図書館は幼児、小学生、老人には使いやすいかと思います。全部の図書館には言いませんが、中学生、高校生がもっと積極的に、使えるようにしてほしい。カフェや食事スペースもあり、一日過ごせるようにしてほしい。武蔵境の駅前の図書館のようだったら学生も使えるのといつも話しています。閲覧スペースと調べ物の学習室を分けてほしい。あと年代別にも。
- ・中央図書館が近年リニューアルされ、利用環境等も格段に向上したと思いますが、その他の図書館は旧態依然としている印象です。その為もあってか、中央図書館等に利用者が集中し、閲覧席はいつでも混雑しています。施設の拡大、閲覧席の増設等、利用スペース・設備の充実を切に望んでいます。
- ・新聞スペースの拡大を希望します。
- ・区内全ての図書館を訪れたことは無いのですが、訪れた図書館の中で中央図書館はとて居心地が良いのを感じました。それは閑静な住宅街の中の木々に囲まれたというロケーションもそうですが、それ以上に今までの「図書館」とは違う各種施設が併設されているところにあると思います。そんな「多機能型図書館」が区内に増えれば図書館がもっと魅力のある場所になるかなと思います。

- ・杉並区住人は57.5万人強、図書館が18ヶ所ある。日本で困っている子供達が250万人いると聞くと杉並区民は恵まれていると思う。18ヶ所の図書館をA・B・Cのランクに分けても構わないので春休み、夏休みと外国人にも案内して、コミュニケーションの場に小・中・高～大人まで含めた通信情報が交換できる場所に開放する。近隣住民との生活観を含め色々な経験、体験が出来る、静かに本を読む以外にコミュニケーションの場が欲しい。
- ・図書館という施設を有効利用するための講演会利用や、勉強・読書スペース、子育て親子利用スペースの充実を望みます。私自身、大学や高校に通う子供たちがいますが、赤ちゃん時代から図書館は本に触れる貴重な場所です。また、子供たちは試験勉強や自由研究の資料集めなどもよく利用させてもらっています。今は仕事が多忙すぎて利用時間内に通うことが難しいため、電子書籍導入などもあれば嬉しいと思いました。
- ・杉並区内の図書館だけ利用してはわからない事ですが、他の市、他の区の図書館を利用してみると感じる事があります。
 - * 予約し、貸出可能となった本は、専用の場所に並べられていて、借り出す人がそれを持って窓口で手続きをする方式を採用している市があります(係員の手間を省くことができると思います)。
 - * 杉並中央よりも中野中央の方が、蔵書(特に古い文庫本・新しい文庫本など)がかなり豊富に揃っていると思われます。
 - * 中央図書館は改修して明るく、外の木々を見渡せながら読書ができ、満足しております。
- ・静かに本を読みたい方がメインとなるかと思いますが、「静」のスペースと「動」(コミュニケーションをとる)のスペースと分けて、子供スペース等、きちんと分けることが大事であると思います。
- ・「学びの場」としての利用をしたいと思います。「静かで落ち着く空間」という従来の図書館のイメージが強いので、集中して学習したい時に利用したいと思います。読み聞かせ(絵本)やワークショップも子どもが幼い時にはよく利用させていただき、楽しませていただきました。
- ・本の返却ポストを、駅にも設置してほしい。
昔住んでいた自治体ではその試みがあり便利だったので。(他県です)
- ・Webで混雑具合がわかる。Webで延長申請できる。貸出待ち予約ができる。貸出待ち通知がくる。開館時間の延長。
- ・ウェブサイトを通して蔵書を予約し、買い物や通勤途中で書籍の受取りと返却をしているため、所々に図書館があることにとても助かっています。高円寺駅前の返却ポストはとても利便性がいいと思います。
- ・本の返却ボックスを、市役所や商工会館のようや公共施設に設けていただけると助かります。私は阿佐谷南に住んでいるのですが、阿佐ヶ谷図書館も荻窪図書館も自宅から2kmくらい離れてるので、区役所や商工会館に返却ボックスがあると平日でも返却できるので助かります。
- ・中野区の中野東図書館が、設備が清潔で気持ちが良いのと、借りるのも返すのも非対面で行えるところが気に入ってよく利用しています(会社が近いのもありますが)。あんな感じの図書館が杉並にもあってほしいなと思っています。
- ・駅前に受け取りと返却ができる機械を作るのは本当に行ってほしいです。
- ・電子図書のサービスを導入してほしい(予約は待ち時間が長い)ため)。
- ・著作権上持ち出しが難しい書籍についてはタブレットを導入し、館内でのみ電子で閲覧できるサービスを導入してほしい。
- ・自習室を充実させてほしい。
- ・電子図書のサービスを導入してほしい(予約は待ち時間が長い)ため)。
- ・著作権上持ち出しが難しい書籍についてはタブレットを導入し、館内でのみ電子で閲覧できるサービスを導入してほしい。
- ・自習室を充実させてほしい。
- ・宮前図書館を学校に併合せずに、新しい施設として独立させてほしい。
- ・さらに、カフェやジムなど憩いの場として複合的な施設にしてほしい。
- ・全国の図書館を繋ぐアプリがあれば嬉しいです。
・図書館の混雑状況確認・図書の検索・自宅配送・ポイント制度の運営・イベントの告知 など図書館がより身近に感じられると思います。
- ・デジタル化により個人と知を繋ぐプラットフォーム作りに注力してほしい。また、図書館を建物であると定義せずに、インターネット上の仮想空間と融合させて、デジタル図書館、メタバース図書館を目指して欲しい。著作権法に詳しい弁護士をスタッフに加えることがプランの骨格作りには欠かせないと思う。尚、個人的には、日本及び外国の絶版本並びに古典を現代日本語訳で大きな文字で書かれたデジタル書籍で読めると嬉しい。
- ・図書館のような、文化活動を担う場所には、設備更新、DX化など予算を投じて頂きたいと思う。
- ・リモート会議も可能なエリアがあると良いなと感じています。(書籍を読みつつ仕事をしたいと思いますが、パソコンのタイピングの音を配慮しないとイケないかなと考えているため)
- ・高齢者が過ごしやすい場所の提供となることを望みます。
- ・様々な用途として、図書館を必要とする各ニーズに寄り添った、対応を適宜して欲しい。
- ・区立図書館には一度行ったことがあるものの、ハードウェア・ソフトウェアともに非常に「古い」という印象を受けた。「学びの場」「知の共同体」「楽しい交流空間」としての図書館ないしは空間を考えたとき、東京都では公的な図書館より、むしろ私企業による複合施設型書店のほうが幅を利かせている、より高い品質を保っているような印象を受ける。しかし日本各地を見回せば、地方都市の図書館や複合施設型の図書館など、利用者の居心地の良さを徹底的に考えた空間作りが印象的な公共施設も次々に登場している。どうか杉並区民が誇りに思える図書館がいつか作り上げられることを願ってやまない。

- ・中央図書館を、家から至近のため利用しています。新しくなってきれいでよい施設です。声の大きい老人からは賛否あるかもしれませんが、特にテスト期間になると学生さんがよく図書館で勉強している光景を見ます、すごくいいと思います。大学でしたら大学の図書館がありますが、小中高生などは家で勉強環境がない場合で、塾の自習室も使えないと、図書館が無料で落ち着いて勉強できる唯一の環境だと思います。図書館に求められる大事な機能の一つだと思うのでこれからも学生の勉強環境としての機能を持ち続けてほしいと思います。
- ・楽しくするコンセプトと1人で調べ物するユーザーが共生できるような空間設定とユニバーサルデザインは必要と思いますが、カフェ等、あまり居心地良くなりすぎると民間業者を圧迫するので、官民の役割が活かされるといいと思います。
- ・サステナビリティ、SDGS等、一般企業と同様の取り組みができるよう、オンライン、ペーパーレス、電子化への取り組みを前向きに推進して欲しいと思います。また、若い世代の利用増加も見据え、Free-wifiの導入も検討していただけると嬉しいです。
- ・テレワークの執務に使えるスペースがあると、より便利だと思います。よく駅等に設置されている執務用ボックスがあると、電源、Wi-Fi、防音が整っているので、使いやすいのではないのでしょうか。
- ・子どもたちが小さかったころ、下井草図書館や柿木図書館の絵本のコーナーによく行きました。今はあるのかもしれませんが、当時は読み聞かせする場所があればなあ、と思った記憶があります。また、自分の本を探す際に、ちょっと子どもを見てくれたらなあ、と思ったりしました。
- ・メタバースのような仮想空間が広まる中、リアルなコミュニケーションの場となる事を目指して欲しい。例えば、コインランドリーやコンビニ、ジムなど、何かのついでに立ち寄れるとか、開館時間をかけて広げるといった、これまで図書館に関心ない人の集客も検討いただきたい。静かな場所というイメージは不要と感じます。
- ・図書館内の飲食スペースで喋るなど限られた場所が騒がしくなるのは良いが、基本的に図書館は静かであることを望む。図書館を交流空間にするのであれば、区民センターやコミュニティなど他の施設との差別化が出来なくなるのではないか。図書館は施設がどうこうというより、蔵書を充実させて欲しい。駐輪場の屋根があればと思うところがある。また、駐車スペースに置かず、通行の妨げになっている自転車が多くある。マナーの向上の対策をとるとともに、電動自転車にタイヤの大きさの関係で駐輪場スペースにおけないこともあるようなので、電動自転車もおける駐輪場にして欲しい。
- ・乳幼児の授乳・調乳室・おむつ台が欲しいです。
- ・図書館に設置してあるコピー機。現在は利用は図書館にある書籍だけのコピーに限定しているが、限定をなくし書類等のコピーも可能にしてほしい。
- ・館内全体の照明が明るすぎると騒音が問題になってくるので全体の照度を少し落として、それぞれの客席に照明を用意(設置)すると、館内全体が静かになるのではないか。(中央図書館には現在個々の照明はあるが、全体が明るすぎると思う。)
- ・他種サービスとの複合施設にはしないほうが良いと思う。
- ・武蔵野市の図書館で見た事があるのですが、本を消毒する機械があるとコロナ禍では安心です。
- ・不特定多数の人物が利用できる利点はあるにせよ、不衛生な住民が利用しているのを散見する。対応が難しければ、清潔な利用を遵守させるよう条例を制定すべき。
- ・図書館のお手洗いを、もう少しキレイにできないでしょうか。古い図書館のお手洗いは、なんとなく入のを避けてしまいます。
- ・お手洗いを綺麗にしてほしい。

【設備面等】

- ・CD予約が電話のできることで助かります。また、2週間という期間も程よく、いつも便利に使わせて頂いています。
- ・参加型のイベントや、講演会、ゆうゆう館での講座ももっと充実させてほしいです。
- ・本の知識が不十分な感じがある。昔の図書館の方が、色々聞きやすかった、尋ねやすかった。
- ・CDの蔵書が古いです。最新の物も少しは入れてほしいです。
- ・雑誌に付いているバック等のような付録類はどうしている(処分？なのか)のか知りたい。
- ・永福は乳幼児室が閉鎖的なので、空気清浄機を置いてほしいです。
- ・個人的に地域の図書館に求めることは、欲しい本があることと借りやすく返しやすい仕組みが整っていることです。
- ・電子図書閲覧用のタブレット。
- ・メディアセンターに向けた電子媒体への変化対応策が不可欠です。
- ・書籍のデジタル化が進んでいるため、Z世代などは図書館に行かないと思う。電子書籍のアクセスを区民に付与するか、更に図書館に行くための催しなどを進めて行く必要があると思う。
- ・杉並区の図書館に求めるというよりは、電子書籍、既存書籍類の電子化は、電子書籍規格、著作権問題等、まずは国の法整備・施策に求めることかもしれないが、電子書籍、電子アーカイブのオンライン利用が早期に実現される事を望む。
- ・貸出・返却手続きの自動化を進め、人材はもっと単純作業以外の有用なことに使ってください。
- ・乳幼児には欠かせない図書館だと思います。これからもステキな絵本を子供達に見せてあげてください。私の息子達も小さい頃はよく図書館(昔の永福区民センター)へ行き、本を借りて読んでいました。思い出の場所です。ここが閉館したときはとてもショックでした。今はその息子たちも大きくなり、今年から新社会人となりました。これからもぜひ、子供たちが行きやすい図書館を続けて下さい。
- ・人口減少社会に向けて資源の有効活用を目的に図書館の統廃合の検討も必要かと思う。10年前と比較して、図書や雑誌はデジタルで閲覧できるようになり、スマホで図書館の在庫を検索できるようになり、音楽は定額配信サービスで聞くことが可能になった。要するに図書館に行く機会が減少した。こういった社会変化に迎合した図書館の運営、在り方を検討していくべきと考える。

- ・ 区他施設との業務、企画内容等のすみ分けが必要と思います。図書館の統廃合も含めて。
- ・ *知的・精神障害児者は騒いでしまいことがある。迷惑かかるからと図書館にいけない。逆に周囲の音が気になって、イライラする場合もある。そういう人たちが気兼ねなく利用できる施設であって欲しい。
- ・ *視覚障害児者は点字書籍が充実していないと、図書館で本を借りようとは思えない。そもそも図書館にたどり着くまでが大変。
- ・ 朗読書籍(タブレット)など視覚障害をお持ちの方が利用できるサービスの充実。自宅にいらることができるといい(視覚障害者にとって一番安全なのは自宅。そもそも図書館にたどり着くまでが大変。図書館にたどり着いても自分一人で活用出来ない。結果、図書館を使用しようとは思えない)
- ・ *聴覚障害児者は知りたいことがあっても、手話通訳者がいないと十分に図書館サービスを活用しづらい。webで手話通訳者と繋いで質問できるような体制にして欲しい。
- ・ *肢体不自由児者のは、バリアフリーでないと活用できない。駅から遠いと活用しづらい。車もとめられないとたどり着けない。エレベーターがないと上下のフロアにはたどり着けない。
- ・ 施設の更なるバリアフリー化を推進して欲しい。
- ・ *重度心身障害児者も楽しめる書籍などを提供して欲しい。→療育につながる書籍など
- ・ *自宅(施設・病院)ネット予約→自宅(施設・病院)に宅配→宅配返却といったスキーム構築。
- ・ *職員の応接スキルに差がありすぎる。
- ・ 誰に対しても親切、丁寧に対応して欲しい。障がい児が騒いだ際、睨みつけられると、もう図書館は利用できないとあきらめるしかない。

問16 図書館の蔵書やサービスについて、ご要望・ご意見がありましたらご記入ください。

* 全体

- ・もう成人になったが、娘も幼少期から小学生時代に、高井戸図書館で多くの本を借りてお世話になった。子供が多くの本と触れ合う機会を提供してくれる図書館の存在は、未来を担う子供達にとって大きな意義がある。
- ・中央図書館は新しくとても使いやすいと思うので、それ以外の図書館も今後さらに使いやすいようになってほしい。
- ・中央図書館を2カ月に1～2度くらいの割合で利用していますが、施設や空間ふくめ、とても良い図書館で杉並区民として誇りに思っています。杉並区の図書館事業は世界に誇るものになれるくらい大きな目標をかかげて、課題に取り組んでいただきたいと思います。
- ・高齢者の居場所、生き甲斐となる場になる可能性がありますし、子育て世代の交流の場となることを考えた時、世代間を越えて交流し活躍できるよう、皆が受益者からボランティア側に自然になるようなコミュニティが創造されるというように思いました。いわば、ボランティアとして自然なカタチで活躍できる場をサービスするという意味で。
- ・杉並区には本当に感謝です。図書館の数が違います！沢山あるので、お散歩代わりに色々伺っております。本当にありがとうございます。
- ・コロナなどで人とのつながりが希薄になっている。人との絆、つながりを深くするような交流の場、知・学びの場であってほしい。共感、共鳴の場を多くして明るい未来が得られたらいいなあと思っています。
- ・暑い時期に、読書や、学習、調べ物、パソコンでの作業が必要な時に利用させていただいています。学習室には同じような境遇の方が多くいらっしゃり、真剣な面持ちで書籍に目を落としている姿を見ると、こちらも触発されるのでありがたく利用させていただいています。

* 設置場所

- ・月に一度でいいので、区の端に住んでいる方向けに、移動図書館を設けていただくとありがたいです。また、月に一度でいいので、早朝開館していただくと本当にありがたいです。
- ・中央図書館と居住地の距離による不公平感をなくす配慮が必要である。

* 席数・スペース

読書や勉強に専念できる自習席を増やしてほしいです。

- ・客観的にはいろいろ考えて手を広げるよりは図書館らしさを残して欲しい。カフェなどを求めるなら図書館に来る必要はないと思うし、デジタル化は世の流れですが、リアルな本をあつかう図書館にとってはそこは昔ながらでも良いのではないかと思います。まずは小中学生が皆通うそんな場所にして欲しい。
- ・私は小さい頃から本が好きだったが、みんなが本好きになる必要はないと思う。しかし、幼児や小学生の低中学年なら、誰かが面白い本を読んでくれたら喜んで聞くのではないかな。本を読まなくてもそういう読み聞かせで語彙が増える子もいるだろうと思う。杉並区の広報などを見ると各図書館、いろいろイベントをして頑張っていると思うが、やはり、本が好きの人が考える域を出ない。本ありきではなく、子どもの教育の一環、子どもが楽しむ場所としての図書館を作ってほしい。しかし、本を読むのが好きな子もいるだろうから、当然、静かに本を読める場所もあるほうがいい。

* 飲食

- ・喫茶・軽食の充実。
- ・カフェなどを併設すると騒がしい雰囲気になりそうで心配。適度に飲食できるスペースがあればよいと思う。
- ・図書館の周りにご飯を食べる場所がないので、図書館内に飲食できるスペースが欲しいと思う。閲覧席に関しては、ふらっと立ち寄ってそのまま本を読むことができる今の環境が好きなので、予約制や時間制限を設けてほしくない。手続きが煩雑になると利用するのが億劫になってしまう。

* 開館時間帯

- ・阿佐ヶ谷図書館のように駅から離れているような場所でも夜遅くまで開館しているので、普段から図書館を使う人には非常に利便性が高いと思います。
- ・早朝、深夜の開館をして欲しい。
- ・日曜の利用時間を17:00→19:00お願いします。

* PR

- ・図書館についてのホームページに辿り着くのに時間がかかる。休館していないか、などがすぐに確認できるような構成にしてほしい。
- ・イベント等やっているのであれば、お手紙、ポスター等で知りたい。
- ・公共施設に図書館のポスター等があると、利用に結びつくかと思いました。
- ・図書館スタンプラリーみたいなイベントを行い区内の図書館の認知を広げてみてはいかがでしょうか。(既に行われていたらすみません)
- ・検索システムなど、スマホに対応した作りに更新を望みます。
- ・ホームページの検索方法に改良の余地あり。

* レファレンス

図書館がどの雑誌や新聞など定期刊行物を購入しているかの一覧があればありがたい。

「購読している雑誌(新聞)一覧」というようなページを作り、各雑誌の所蔵状況→予約まで行けると便利かと思う。郷土史、歴史資料に関する相談や鑑定などができると良いと思う。

- ・今やレファレンスサービスに力を入れて、文化、教養における資料、情報が保存されています。しかし、杉並区の限ったことではないが、「道徳」に就いての欠けてる所を図書館に期待します。日本は儒教の教えから武道、芸道を生活の中に、生き方に「ものの善悪を判断する」ことに道徳があると思っている。中国、韓国、日本もお金で判断する傾向である。道徳が曖昧であってはならない。知識、教養の中に地域を支える情報拠点として資料を揃え、サービスの提供を願う。
- ・セルフでできることも大切だが、説明を聞きながら案内を受けながら利用できることも大事ではないか。

* 貸し出し、リクエスト

- ・予約の本がかなり待たされることが多い。人気のある本は増やすなど対抗してほしい。あと、娯楽関連の本(マンガなど)は不要だと思うので専門書の拡充をお願いしたい。
- ・現在、書籍の貸し出しは2週間、次の予約者がいない場合はネットから1週間の延長が可能ですが、更に続いて予約者がいない場合はネット経由で再延長も可能にしてほしい。あるいは延長の期間を2週間とするなど、もっと長期にしてほしい。
- ・法律書をもっと置いてほしいです。(法律は頻繁に改正されるため)
- ・狂言に関する書籍を増やしてほしい。
- ・ガイドブックをよく借ります。最新のものを買いつけるのは難しいけど、図書館なら常に最新の情報が手に入るので、ありがたいです。小説もよく借りますが、文庫本もあるのが持ち歩いていいです。
- ・寺の檀家制度や神社の奉納制度をヒントに、書籍の充実への支出に用途を限定して、寄付金を集めたり、債券を発行することも一案と考える。弁護士とファンドマネジャーを加えて、ブレンストーミングすることをしてほしい。
- ・図書館は話題の本や新刊を求める場所ではなく、古典など読み継ぐべき良本を紹介する場とすべきという考え方もあると思います。例えば各図書館で工夫をして、古典や良本の特集を組んで紹介する取り組みをやるのもいいかと思います。(新刊の書店でポップ広告を出して本を紹介するイメージ)本の貸し出し期間を、貸出待ち人数に応じて短くするようなサービスも有用だと思います。(1人あたり2週間の貸し出しで、200人待ちとかの状況を解決する手段として)
- ・現在、一度に借りられる冊数が多すぎる(15冊)ので読みたい本の回転が遅くなっているのではないかと思うし、たくさん本を入れる袋によっては本が乱雑に扱われているように思う。
- ・区立の各図書館を巡回するバスがあれば子供たちや高齢者には便利になると思う。

* 自動貸し出し

- ・自動貸出機の導入、司書コーナーは専門コーナーとして貸出業務は免除すると効率化できるかと思います。
- ・PC、スマホ電源箇所含め利用席の設置。
- ・アンケートでWi-Fi環境が整備されたら嬉しいと回答しましたが、他の区内あるいは区外の図書館施設で無料Wi-Fiを解放している施設はどのような施策をとっているのでしょうか？喫茶店でよくある「メールアドレスを事前に登録し、1回1時間だけ無料通信可能」などというのが現実的な落とし所かなと思いました。
- ・日本では電子書籍の導入が少ないが、コロナ禍を契機に大きく増えたとの事。出版業界などとの関連もあるかもしれないが、状況に応じて取り入れる必要があるのではないかと思う。
- ・電子書籍での借用ができればもっと利用したい。平日働いている世代も活用しやすくなる。また、現在、オンライン予約して受取での借り方でないで読みたい本はほぼ借りられていて図書館には無いので、図書館の建物としての存在意義が無いと感じている。(閲覧のみの雑誌類は読めるので、それを読む空間でしかない。しかしそれも一冊ずつしかなかったらするので、なかなか行って利用しようとならない)また、障害児、者、介護者など抱えているとわざわざ行って借りたり返したりが困難である場合も多いので、その必要がない電子書籍での借用の導入を強く求めたい。ただ、新しい本に出会う楽しみもあるのがリアルなメリットでもあると思うので、そのメリットを活かしていける空間づくりも必要と考えます。

* 返却

- ・返却ポストを区役所・区民センター等に設置してほしい。
- ・以前区内の駅に設置されていた図書返却ボックスの再設置、或いはそれに代わるサービスの導入を希望致します。返却が容易になることで、図書の貸し出し増加に繋がると思います。駅の返却ボックスについては、管理・運用コスト増等を理由に撤廃されたものと推察致しますが、駅近隣のコンビニや郵便局等の協力を得て、比較的低コストで同様の返却サービスを導入することはできないでしょうか。将来的には宅配サービスの導入も検討されるとのことですが、本を読み、借りるために図書館に行くことは楽しみでもあります。まずは返却の利便性向上に取り組んでいただければと思います。
- ・コロナ禍でなくても今のように開館時間でもブックポスト返却できるようだと良い。(並びたくない)
- ・ネットで予約して、宅配で届けてもらえるサービスがあれば、本当に便利だと思います。多少費用がかかっても、買うより安いのであれば、私は喜んで負担します。ネットで予約して、必要な費用はそのままカード決済できると、本当に便利です。ネットで本を買うことも減るかもしれません。
- ・超高齢化社会にともない図書館に足を運べない人も増えてくると思う。本は大切な余暇であると思うので、宅配サービスなどを例えば地域の宅配サービスをしているスーパーなどと連携することも面白いのではないかと思う。同時に、人気の図書は借りられるまでに一年以上待つこともめづらしくない。電子書籍化して、多くの人に同じタイミングで読む機会があればうれしい。
- ・ネットで予約した本を近くのコンビニ等で受け取れるサービスがあったら嬉しいです。

- ・図書館の利用者増を目的に、駅近くに移転する、カフェチェーン店などとコラボし、オシャレな図書館を作るなども検討が必要だと思う。図書館の運営権を民間に委ねるなど、またネーミングライツなど民間リソースを有効活用するのも面白いと思う。
本や雑誌のデジタル貸し出し、閲覧を可能にするなど、図書館に行かないでもオンラインで利用できる環境を整備することも将来的な課題であると思う。

* 企画

- ・小学生が図書館に通いやすい環境やイベントがあると良いと思う。
- ・数が少なく、あるいは、近くにないので、なかなか本を読むため、借りるために利用していません。図書館以上それを満たしてくれる媒体があるように思います。わざわざ図書館に行かなければならない理由が今のところ見当たりません。図書館に行きたくするような、企画を期待します。
- ・大人になると図書館の場所すら気にしないと分からないことが多いので、息抜きや休日の過ごし方など何かしらの候補に考えがよぎるアピールがあるといいのかもと思いました。お金がかからない方法となると難しいですが。
- ・20代が本当に興味を持って参加できる、質が高く文化的な講座がほしいです(私個人は語学の上級クラスが土日か19時30分以降にあると嬉しいです)
- ・小さな子供を連れていけるし、すぐ近くにあるので、夏休みの課題調べに活用しています。
- ・今回図書館のホームページを見て、色々なイベントを行っているのを知った。
自分のような人は他にもいると思うので、多くの区民に知ってもらえるツールや機会が増えれば良いと思う。
また、様々なイベントを開催し、参加する人が増えれば図書館の利用者も増えるのではないかな。
- ・幼稚園生と小学生2人連れていくので、下の子のトイレやなんやらでお兄ちゃん1人にしてしまうことがあるのですが、成田のスタッフさんは何かお手伝いしましょうか？と声をかけてくださりとても助かっています。
よくお話し会に参加しますが方南や高井戸、永福のスタッフさんもとても優しいです。これからも催し物期待しています。

* その他

- ・とても丁寧なスタッフが多くいます。ありがとうございます。
- ・引き続き、区民が使いやすい図書館運営の継続をお願いします。
- ・司書の方々のおすすめの本などを紹介してほしい。
- ・下井草図書館を利用していますが、職員の方々は気持ちよい姿勢でサービスにあたられていると感じています。ありがとうございます。
- ・図書館は資料を収集し、保管する役目があると思う。杉並区の図書館は新しい本や人気の本ばかりで、古い資料や専門的な資料が必要な時は区外の図書館を利用している。もっと蔵書を充実させてほしい。また、蔵書検索システムで検索してもタイトルなど一文字違ったりすると該当するものがないとなってしまうので類似するものを検索されればよいと思う。そして、中央図書館は開架になっている資料が少なく、多くが閉架になっている。もう少し棚を増やし、開架にして欲しい。もしくは開架と閉架の資料を時々入れ替えてほしい。最後に、民間に業務委託してから職員の質が落ちたように感じる。民間職員の質を向上させてほしい。
- ・民間委託は正解。
- ・入館しやすい開放的な設備に改修。
- ・親切なスマイル対応。
- ・本を借りる以外の機能、サービスは図書館に出向いて利用者登録(本登録)する前でも可能な限り使えるようにした方が登録者数は増えると思います。
- ・耳の聞こえない方も楽しめるよう、受付に遠隔手話通訳システムを設置したり、手話でのコミュニケーションができるよう工夫していただきたいです。
- ・自宅の本の補修や補強についても、持ち込みで図書館でできるようにしてほしい。ただし、単に直してもらのではなく、教えてもらって自分でできるようにし、さらに技術が備わってきたら自分の本だけでなく図書館の本の補修のボランティアも実施するようになれば、両者にメリットがあるのではないのでしょうか。
- ・図鑑の貸し出し(重いのでデリバリーサービス希望)
- ・職員の応接スキル向上に取り組んで欲しい。中には高圧的な職員も見受けられる。
- ・図書館の人は非常識な人がいても注意をしない人がいるそうです。子供の手本になるような方を入れてほしいです。
- ・利用者への対応が拘り定規で「やさしい対応」「毅然とした対応」の使い分けが出来ていない。
難癖をつけスタッフを怒鳴っている人が時々いる。警察と連携を密にして、いつでも来てもらえる様にした方が良い。その場にいる利用者にも大変迷惑。
- ・男性用トイレに衛生用品を流さないようにとの注意喚起の張り紙を見かけたが、高齢化に伴い使用者も増えることが予想されるのであるから、区も汚物入れの設置等も検討すべきではないか。
- ・できれば、エレベーターには身体障害やベビーカーを優先するような張り紙があるとうれしいです。
- ・中央図書館のリノベーションで非常に素敵な空間になった。テラスの席が好きだが蚊が沢山いて居心地が悪い時があるので上手く改善してもらえると更に行きたくなる場所になると思う。カフェも素敵だが定期的にメニューを替えてもらえると嬉しい。
- ・不審者等への「実効性のある緊急対応マニュアルの策定」と、スタッフへの「定期的な緊急対応訓練」の実施。

令和4年度第1回
杉並区区政モニターアンケート
集計結果報告書

登録印刷物番号

04-0035(1)

令和4年9月発行

編集・発行

杉並区総務部区政相談課

〒166-8570

杉並区阿佐谷南1-15-1

☆杉並区のホームページでご覧になれます。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kusei/koho/kocho/1012817.html>